

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

2023年3月31日現在
認定NPO法人 茨城NPOセンター・commons

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	3. 団体名のふ りがな	4. 活動や団体の キャッチフレーズ	5. 代表者 役職名	6. 代表者名	7. 代表者名のふ りがな	8. 連絡先住所 の郵便番号	9. 連絡先の住 所	10. 主な活動場 所名	11. 主な活動 場所の住所	12. 電話番号	13. 電話対応時 間・曜日	14. FAX番号	15. eメール・アド レス	16. ウェブサイト、ブログ、 SNSなどのURL	17. 活動 開始年 (西暦)
1	NPO法 人	ソワンアン ドソワレ	そわんあんどそ われ	障がいや病気、介護の 壁をなくし、誰もが生 きがいをもって暮らせ る社会へ	理事長	中島 沙都美	なかじま さとみ	300-1216	茨城県牛久市神 谷5丁目15-14	タマノハウスB棟	茨城県牛久市南 3丁目12-1	080-3714-0612	火曜午前10時～ 午後3時		sowasowaradio@y ahoo.co.jp	https://sowasowa- web.jimdosite.com Facebook https://www.facebook.com/so wasowaibaraki Instagram https://www.instagram.com/s owasowa_ibaraki/ 各サイト「そわそわ 茨城」で検 索	2019
2	任意団 体	茨城県自閉 症協会	いばらきけんじ へいしょうきよ うかい	自閉症スペクトラムの これからを考えます	会長	秋田 晴美	あきた はるみ	311-3157	茨城県東茨城郡 茨城町小幡北山 2766-36 社会福祉法人梅 の里内			留守電対応（折 り返しこちらか ら連絡いたします ）	029-292-5310	asibaraki@yahoo.c o.jp	https://asibaraki2020.jimdfre e.com	1974	
3	一般社 団法人	茨城県手をつ なぐ育成会	いばらきけんて をつなぐいくせ いかい	かなえよう 私の願い みんなの願い！	会長	永井 立雄	ながい たつお	310-0851	〒310-0851 茨城県水戸市千 波町1918 セキショウ・ウ ェルビーイング 福祉会館内	セキショウ・ウ ェルビーイング 福祉会館	〒310-0851 茨城県水戸市千 波町1918 セキショウ・ウ ェルビーイング 福祉会館内	029-243-3838	平日午前8時30 分～午後5時15 分	029-243-3854	iba- ikuseikai@bz03.plal a.or.jp	http://www.ibaikuseikai.com/ 	1961
4	認定 NPO法 人	いばらき子 どもの虐待 防止ネット ワークあい	いばらきこども のぎゃくたいぼ うしねっとわー くあい	小さないのちと心をま もりたい	理事長	坂本 博之	さかもと ひろゆき	311-4143	茨城県水戸市大 塚町1866-102		茨城県水戸市大 塚町1866-102	029-309-7690	月・水・木曜 午前10時～午後 3時	029-309-7690	network- i@ams.odn.ne.jp		2000

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

2023年3月31日現在
認定NPO法人 茨城NPOセンター・commons

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	3. 団体名のふ りがな	4. 活動や団体の キャッチフレーズ	5. 代表者 役職名	6. 代表者名	7. 代表者名のふ りがな	8. 連絡先住所 の郵便番号	9. 連絡先の住 所	10. 主な活動場 所名	11. 主な活動 場所の住所	12. 電話番号	13. 電話対応時 間・曜日	14. FAX番号	15. eメール・アド レス	16. ウェブサイト、ブログ、 SNSなどのURL	17. 活動 開始年 (西暦)		
5		ボラン ティア 団体	肢体不自由 児・医療的 ケア児の家 族会 そら 〜ち	したいふじゆう じ・いりようて きけあじのかぞ 〜かい そら〜 ち	共同代表	綿引、小菅	わたびき、こすげ			守谷市内の公共施 設					sorachi2021nji@g mail.com	Twitter https://twitter.com/sorachi202 1 Facebook https://m.facebook.com/sorac hi2021	2021		
6	NPO法 人	かけはし ねっと	かけはしねっと	医療的ケアを必要とす る子どもの親の会	代表理事	根本 希美子	ねもと きみこ	300-2667	茨城県つくば市 中別府591-111					029-828-6751	029-828-6751	kakehashi_201611 20@yahoo.co.jp	ホームページ https://kakehashinet.jp/ Facebook 「かけはしねっと」 で検索 公式LINE @564cqtdx メンバーリスト 当会メールアドレス宛に登録希 望の旨記載しメールください	2016	
7	一般社 団法人	Burano	ぶらーの	世界はもっとカラフル にできる。	代表理事	秋山 未来	あきやま みく	306-0231	茨城県古河市小 堤1881-13		茨城県古河市小 堤1881-13	0280-23-4490	月〜土曜午前9時 〜午後6時	0280-23-4491	info@burano.or.jp	http://burano.or.jp/	2018		
8	NPO法 人	ナラノン ファミリー グループ ジャパン	ならのんふあみ りーぐるーぷ じゃぼん	薬物依存症者の家族や 友人達の集まりです。				171-0021	東京都豊島区西 池袋2-1-2 島幸 目白2-C	全国（ナラノンの ホームページに ミーティング場の 情報があります）				03-5951-3571	平日午前10時〜 午後4時（電話で の相談は受け付 けていません）	03-5951-3571	naranon@sirius.oc n.ne.jp	http://nar-anon.jp/	1989
9	NPO法 人	茨城県断酒 つくばね会	いばらきけんだ んしゅつくばね かい	酒害者を一人も残すな	理事長	高橋 幸夫	たかはし ゆきお	300-0816	茨城県土浦市永 国東町14-1					029-822-1895	随時	029-822-1895	yqrgp968@ybb.ne. jp	1985	

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

2023年3月31日現在
認定NPO法人 茨城NPOセンター・ commons

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	3. 団体名のふ りがな	4. 活動や団体の キャッチフレーズ	5. 代表者 役職名	6. 代表者名	7. 代表者名のふ りがな	8. 連絡先住所 の郵便番号	9. 連絡先の住 所	10. 主な活動場 所名	11. 主な活動 場所の住所	12. 電話番号	13. 電話対応時 間・曜日	14. FAX番号	15. eメール・アド レス	16. ウェブサイト、ブログ、 SNSなどのURL	17. 活動 開始年 (西暦)
10	NPO法 人	茨城依存症 回復支援協 会	いばらきいぞん しょうかいふく しえんきょうか い	自分達の生きられる場 所を創っていこう！	理事長	揚石 廣行	あげいし ひろいき	309-1722	茨城県笠間市平 町122-4		茨城県笠間市平 町122-4	0296-78-5287 (緊急：070- 7527-1484)	平日午前9時～午 後5時半	0296-73-4224	iarsa@nifty.com		2010
11	一般社 団法人	ギヤマン ン	ぎやまのん	ギャンブルの問題の影 響を受けた家族・友人 のための自助グループ						全国(ギヤマン ンHP参照)	ギヤマン ンHP 参照	03-6659-4879	月曜・木曜午前 10～12時	03-6659-4879	info@gam-anon.jp	https://www.gam-anon.jp	1991
12	公益社 団法人	いばらき被 害者支援セ ンター	いばらきひが いしゃしえんせん たー	ひとりで悩まずにご相 談ください	理事長	荒川 誠司	あらかわ せいじ	310-0802	茨城県水戸市柵 町1-3-1茨城県水 戸合同庁舎6階		茨城県水戸市柵 町1-3-1茨城県 水戸合同庁舎6 階	029-232-2738 (事務局)	犯罪被害相談： 029-232-2736 平日午前10時～ 午後4時 性暴力被害相 談：029-350- 2001 平日午前9時～ 午後5時	029-232-3100	jimu@ivac.or.jp	https://www.ivac.or.jp https://www.ivac.or.jp/networ k (性暴力被害者サポートネット ワーク茨城)	1995
13	NPO法 人	スキマサ ポートセン ター	すきまさぼーと せんたー	犯罪加害者家族支援	理事長	佐藤 仁孝	さとう じんご	531-0071	大阪府大阪市北 区中津1-11-8 森川ビル502			070-5650-9473	24時間		sukisapo@gmail.co m	http://sukima-support.red	2018
14	ボラン ティア 団体	茨城県難病 団体連絡協 議会	いばらきけん なびょうだんた いれんらくきよ うぎかい	難病患者の福祉医療の 向上を	会長	会澤 里子	あいざわ さとこ	310-0851	茨城県水戸市千 波町1918 茨城県総合福祉 会館内	茨城県総合福祉会 館	茨城県水戸市千 波町1918	029-244-4535	平日午前10時～ 午後4時	029-244-4535	iba- nanren@lake.ocn.n e.jp	http://ibananren.web.fc2.com/ e.jp	1983
15	一般社 団法人	日本ケア ラー連盟	にほんけあら れんめい	支える人を支えたい	代表理事	児玉 真美、津止 正敏、堀越 栄 子、牧野 史子	こだま まみ、つど め まさとし、ほ りこ しえいこ、ま きの ふみこ	160-0022	東京都新宿区新 宿1-24-7 ルネ御苑プラザ 513		東京都新宿区新 宿1-24-7 ルネ御苑プラザ 513	03-3355-8028	毎週月曜日午後1 ～5時(祝祭日を 除く)	03-6809-1093	info@carersjapan.c om	https://carersjapan.com/ Facebook https://ja- jp.facebook.com/carersjapan2 010/	2010

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

2023年3月31日現在
認定NPO法人 茨城NPOセンター・commons

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	3. 団体名のふ りがな	4. 活動や団体の キャッチフレーズ	5. 代表者 役職名	6. 代表者名	7. 代表者名のふ りがな	8. 連絡先住所 の郵便番号	9. 連絡先の住 所	10. 主な活動場 所名	11. 主な活動 場所の住所	12. 電話番号	13. 電話対応時 間・曜日	14. FAX番号	15. eメール・アド レス	16. ウェブサイト、ブログ、 SNSなどのURL	17. 活動 開始年 (西暦)
16	NPO法 人	ともに歩む 認知症の 会・茨城	ともにあゆむに んちしょうのか い・いばらき	認知症とともに生きる	代表	澁谷 史子	しぶや ふみこ	310-0841	茨城県水戸市酒 門町1959-27	水戸市福祉ボラン ティアセンターミ オス、茨城県衛生 会館		080-9819-4829	午前9時～午後5 時	029-247-2180	tomoniayumu.d.20 17@gmail.com	https://tomoniayumud2017.wixsite.com/website-1 https://youtu.be/c4K1sNU5Yhc (動画：厚労省認知症希望の道)	2015
17	NPO法 人	認知症介護 家族の会う さぎ	にんちしょうか いごかぞくのか いうさぎ	認知症の人と介護家族 を地域全体で見守り、 支え合う地域をつくら う	理事長	諸岡 明美	もろおか あけみ	300-0617	茨城県稲敷市福 田1597番地	デイサービスうさ ぎ	茨城県稲敷市福 田1597番地	0299-77-9173	平日午前9時～午 後5時	0299-77-9174	kaigo-k- usagi@iaa.itkeeper .ne.jp	https://usagi.or.jp	2011
18	ボラン ティア 団体	日立市そよ かぜの会	ひたちしそよか ぜのかい	一人で悩まないで仲間 と一緒に語ろう！	会長	今村 温	いまむら あつし	316-0015	茨城県日立市金 沢町7丁目16-12	日立市女性セン ター	茨城県日立市結 川町1-1-10	080-3200-5514	随時		arthur.imamu@net 1.jway.ne.jp	https://soyokaze-kaigo.jimdofree.com	1993

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

2023年3月31日現在
認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	3. 団体名のふ りがな	4. 活動や団体の キャッチフレーズ	5. 代表者 役職名	6. 代表者名	7. 代表者名のふ りがな	8. 連絡先住所 の郵便番号	9. 連絡先の住 所	10. 主な活動場 所名	11. 主な活動 場所の住所	12. 電話番号	13. 電話対応時 間・曜日	14. FAX番号	15. eメール・アド レス	16. ウェブサイト、ブログ、 SNSなどのURL	17. 活動 開始年 (西暦)
19	ボラン ティア 団体	ひまわりの 会	ひまわりのかい	一人で悩まないで、あ なたは一人じゃないよ	代表	平山 三恵子	ひらやま みえこ								himawari.peerpow er@gmail.com		2019
20	ボラン ティア 団体	不登校・多 様な学び ネットワー ク 茨城	ふとうこう・た ようなまなび ねっとわーく い ばらき	子どもの豊かな育ちを 支えるために手をつな ぎ、不登校に関わる テーマを考えていく、 支援者のネットワーク です。	代表	石田 佳織	いしだ かおり	305-0031	茨城県つくば市 吾妻3-11-15 ヴェルンハイム k103	参加者用 Facebookグル ープ、オンラ インミーテ ィング	参加者用 Facebookグ ループ、オン ラインミーテ ィング	080-2381-8611	午前9時～午後8 時		futamanet.ibaraki @gmail.com	https://ibaraki-futoukou.net/ Facebook https://www.facebook.com/gr oups/futamanet.ibaraki Twitter https://twitter.com/futamanet _iba Twitter https://twitter.com/tayomana biiba (イベント告知)	2020
21	ボラン ティア 団体	ami seed	あみしーど	私たちが私たちにでき る事をする～誰かの笑 顔のために～	代表	清水 直美	しみず なおみ	300-1153	茨城県稲敷郡阿 見町実穀1269- 20 (伊東商事敷地 内)		茨城県稲敷郡阿 見町実穀1269- 20 (伊東商事敷地 内)	080-6531-4650	平日・週末午前9 時～午後9時		amiseed2020@gm ail.com	https://www.amiseed.com Twitter @AmiAmiseed 1 Facebook Amiseed～阿見に種 を蒔く～ Instagram ami.seed	2020
22	ボラン ティア 団体	ひきこもり 不登校/つ ながり考え る鹿行の会	ひきこもりふと うこう/つな がりかんがえ るっこうのかい	集まれば元気！語り合 えば勇気！	世話人代表	小林 幸弘	こばやし ゆきひろ	311-2116	茨城県銚田市札 822-34	銚田中央公民館	茨城県銚田市銚 田1444-1	080-3277-2002	午前9時～午後5 時	0291-39-7008	yukki.hati@gmail.c om		2017

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

2023年3月31日現在
認定NPO法人 茨城NPOセンター・commons

行番号	1. 法人格の有無やその種類	2. 団体名	3. 団体名のふりがな	4. 活動や団体のキャッチフレーズ	5. 代表者役職名	6. 代表者名	7. 代表者名のふりがな	8. 連絡先住所の郵便番号	9. 連絡先の住所	10. 主な活動場所名	11. 主な活動場所の住所	12. 電話番号	13. 電話対応時間・曜日	14. FAX番号	15. eメール・アドレス	16. ウェブサイト、ブログ、SNSなどのURL	17. 活動開始年(西暦)
23	ボランティア団体	てふてふの会	てふてふのかい	想いがわかる者同士で語り合おう				310-0031	茨城県水戸市大工町1-2-3 トモスミとビル4階 みとしんビジネスセンターC-1 茨城NPOセンター・commons内		茨城県水戸市大工町1-2-3 トモスミとビル4階 みとしんビジネスセンターC-1 茨城NPOセンター・commons内	029-291-8990	平日午前9時～午後5時	029-300-4320	good.job@npocommons.org	Facebook 「グッジョブセンターみと」で検索	2017
24	ボランティア団体	難病カフェアミーゴ	なんびょうかふえ あみーご	誰もが気軽に立ち寄り、おしゃべりを楽しめる場所	代表	桑野 あゆみ	くわの あゆみ	300-0427	茨城県美浦村布佐982の3	ミオス その他県南地域	ミオス（水戸市赤塚1-1） その他県南地域	090-2986-8198	随時		nanbyoucafeamigo@gmail.com	ブログ https://ameblo.jp/amigo2016 Facebook、Twitter 「難病カフェアミーゴ」で検索	2016
25	認定NPO法人	水戸子どもの劇場	みとこどものげきじょう	こども・子育てをまんなかに。誰もが主役・みんなの居場所。	代表理事	平野 弥生	ひらの やよい	310-0912	茨城県水戸市見川2-82-11	水戸市福祉ボランティア会館、 当団体事務所、 いきいき交流センター葉山荘		029-255-0908	平日午前10時～午後5時	029-255-0908	gekijo310@citrus.ocn.ne.jp	https://mito-kodomo.securesite.jp/wp/ Facebook https://www.facebook.com/mito.kodomo/ Instagram https://www.instagram.com/mito.kodomonogekijo/ Twitter https://twitter.com/kodomonogekijo	1971
26	ボランティア団体	双子サークルかみすついでん	ふたごさーくるかみすついでん	集まれ、双子・三つ子ママ&ファミリー！	代表	西脇 順子	にしわき じゅんこ			神栖市保健・福祉会館	茨城県神栖市溝口1746-1	080-5560-5298	土日平日いつでも、夜間以外対応		kamisutwin@yahoo.co.jp	https://kamisutwin.jimdosite.com/ Twitter https://twitter.com/kamisutwin LINEオープンチャット https://t.co/WsxhCkpN2X	2020

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

2023年3月31日現在
認定NPO法人 茨城NPOセンター・commons

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	3. 団体名のふ りがな	4. 活動や団体の キャッチフレーズ	5. 代表者 役職名	6. 代表者名	7. 代表者名のふ りがな	8. 連絡先住所 の郵便番号	9. 連絡先の住 所	10. 主な活動場 所名	11. 主な活動 場所の住所	12. 電話番号	13. 電話対応時 間・曜日	14. FAX番号	15. eメール・アド レス	16. ウェブサイト、ブログ、 SNSなどのURL	17. 活動 開始年 (西暦)
27	ボラン ティア 団体	ゆったりカ フェ龍の会	ゆったりかふえ りゅうのかい	ありのままの思いを語 り合える場	代表	南部 節子	なんぶ せつこ	301-0042	茨城県龍ケ崎市 長山5-14-11			090-6519-3807	随時	0297-66-4039		南部節子個人でFB	2017
28	ボラン ティア 団体	茨城県里親 連合会	いばらきけんさ とおやれんごう かい		会長	京川 誠	きょうかわ まこと	313-0016	茨城県常陸太田 市金井町3545根 本ビル2階 地域家庭支援セ ンターほまれ内		茨城県常陸太田 市金井町3545 根本ビル2階 地域家庭支援セ ンターほまれ内	0294-87-6656	平日午前10時～ 午後5時	0294-87-6657	jimukyoku@ibasato .xsrv.jp	https://xn--6oqy3j1tdc66b2wmxgjomldkd.jp/	
29	任意団 体	グリーンサ ポートいば らき ぶ るーすかい	ぐりーふさぼー といばらきぶ るーすかい	大切な人を亡くした子 どもが、安心して遊べ る場・話せる場をつく ろう	代表	池内 彰子	いけうち しょうこ	310-8585	茨城県水戸市見 和1-430-1 常磐 大学	常磐大学	茨城県水戸市見 和1-430-1	029-232-2721	平日午前9時～午 後5時	029-232-2721	ikeuchi@tokiwa.ac. jp		2019
30	宗教法 人	正安寺グ リーフサ ポートカ フェ	しょうあんじぐ りーふさぼーと かふえ	大切な人を亡くされた 方へー同じ体験をした 人々のつどいー	住職	増田 直	ますだ なお	312-0011	茨城県ひたちな か市中根3542 正安寺	正安寺	茨城県ひたちな か市中根3542	029-274-5623	何時でも可	029-273-5385	namunamu.shoanji @gmail.com	http://shoanji.info/	2020
31	ボラン ティア 団体	Sanaの会	さなのかい	子どもを亡くした親の 会	つくば国際 大学医療保 健学部看護 学科 助教	埴 恵子	はなわ けいこ	300-0051	茨城県土浦市真 鍋6-8-33	内原市民センター	茨城県土浦市真 鍋6-8-33	029-826-6622	平日午前9時～午 後5時	029-826-6776	k- hanawa@tius.ac.jp	https://sana-grief.jimdofree.com	2020
32	認定 NPO法 人	千葉県東葛 地区・生と 死を考える 会	ちばけんとうか つちくせいとし をかんがえるか い	人生の意味を問い続け る	理事長	竹内 啓二	たけうち けいじ	277-0855	千葉県柏市南柏 1-5-14 南柏会館7階	南柏会館7階	千葉県柏市南柏 1-5-14	04-7141-2440	電話はつながり にくいのでメー ルでご連絡くだ さい。	04-7141-2441	mitsui@grief- care.com	https://grief-care-kashiwa.amebaownd.com/ Facebook、Twitter 「とうかつ生と死を考える会」で 検索	1993

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	18. 年間財 政規模	19. 会員 数	20. 設立経緯	21. 団体の目的	22. 主な活動 対象地域	23. 支援対象
1	NPO法 人	ソワンアン ドソワレ	50万～100 万円	10～30名	立ち上げメンバー自身が何らかの障がいや病気を抱える家族がいるケアラーで、24時間看護やひきこもり、外出困難などの生きづらさを経験したことで、障がいや病気、看護などの理由で差別や生きづらさを感じない社会の実現を目指すに至りました。	障がいや病気、介護などの困難を抱える方に対して、情報の提供や地域の特性を生かした就労機会の支援事業および子育てに関する事業を行い、障がいや病気、介護などにかかわらず誰もが家庭や仕事、地域交流などの生きがいを持って幸せに暮らせる、豊かな地域社会の創生に寄与することを目的とする。	牛久市	主にケアラーと障がい当事者
2	任意団 体	茨城県自閉 症協会	100万～200 万	100～ 300名	県内において昭和40年頃から自閉症ではないかと診断される子どもが出始めました。当時は相談する機関がなく、どのような対応をしていったら良いか途方に暮れていました。そのような時代に地域を越え、交流を深め、自閉症児・者親の会全国協議会（現在の一般社団法人日本自閉症協会）に連絡を取り始め、昭和49年（1974年）に茨城県自閉症者親の会が発足。全国協議会の組織改編に伴い日本自閉症協会茨城支部へ。そして茨城県自閉症協会と名称が変化しました。	自閉症児・者がいきいきと暮らしていける社会の実現を目指し、会員同士が情報を共有し、学び合い、関係する方々とともに、自閉症児・者の尊厳と権利を護り、福祉の増進に寄与することを目的としています。	県内全域	自閉症児・者とその家族
3	一般社 団法人	茨城県手をつなぐ育成 会	100万～ 1,000万円	300名以 上	1952年（昭和27年）に東京の小学校の特殊学級（当時）に通う子どもの3人の母親が、知的障がいのある子どもの幸せを求めて、全国に呼びかけて育成会活動が始まり、茨城県では1961年（昭和36年）に県育成会が発足しました。	障害者福祉に対する県民の理解を深めるとともに、知的障害者とその家族に対する福祉の推進事業を行い、共生社会の実現と福祉の向上に寄与する。	県内全域	知的障害児者及びその家族など
4	認定 NPO法 人	いばらき子 どもの虐待 防止ネット ワークあい	100万～ 1,000万円	100～ 300名	県内で起きた幼児虐待死亡事件をきっかけに、虐待死を防ぎ、虐待事件を減らすのに、どうしたらよいか…市民目線で考えていこうと有志が集まり会を結成した。	子どもへの虐待を防止すると共に、子どもの人権について考える。	県内全域	被虐待体験により心の傷に悩んでいる方、家族関係で悩みを抱えている方、子育てをつらいと感じている方

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	18. 年間財 政規模	19. 会員 数	20. 設立経緯	21. 団体の目的	22. 主な活動 対象地域	23. 支援対象
5		ボラン ティア 団体 そら 〜ち	10万円未満	10〜30名	肢体不自由児や医療的ケア児の親が、LINEグループを作り情報交換をしていました。やがて、「同じように困っている人たちに情報を届けたい」「障がいがあることで直面する問題について、知ってもらいたい、何とかしたい」と思うようになりました。	親同士や支援者をつながりを持つ。 必要な支援の情報を提供する。 過ごしやすいまちづくり。	守谷市	肢体不自由児、医療的ケア 児とその家族、支援者
6	NPO法 人	かけはし ねっと	50万〜100 万円	50〜100 名	医療的ケアとは、病院以外の場所で家族などが行う、生きていく上で必要な医療的援助のことで、喀痰の吸引や経管栄養、導尿、人工呼吸器の管理等があります。小児医療が急速に進み全国には約2万人、茨城県内には400名を超える医療的ケア児がいると推計されます。退院後おうちに帰って生活を始めると、地域の中での支援体制は十分とは言えず、そのケアは家族・ケアラー任せとなり、外出も困難な引きこもりざるを得ない状況に孤立する家族が少なくありません。当事者同士のつながりづくりが、誰もが安心して暮らせる社会につながると強く感じ団体設立に至りました。楽しいイベントの開催や、個々では難しい自治体への要望などを通じて、障がいがあってもなくて、医療的ケアが必要であってもなくても、誰もが生きやすい社会となり、暮らしを充実させていきたい。そんな思いをもつ親たちが集まって活動しています。	医療的ケアを必要とする子どもの家族同士、ケアラー同士を繋いだり、サポートする各関係機関を繋いだり、育児や福祉医療に関する情報の発信、情報交換・交流の為にイベント等企画により親睦を深め、災害時を含めた相互協力ができそうなかけはしとしたい。 医療的ケアを必要とする子どもとその家族が今よりもっと安心して健やかに生活していくことができるような地域社会を目指して。	県内全域	障がい児、医療的ケアを必要とする子どものご家族や支援者ならどなたでも
7	一般社 団法人	Burano	3,000万円以 上	10名未満	医療的ケアや重度の障害がある子どもたちの親で立ち上げた子どもたちと家族の欲張り拠点。子どもたちと遊びを通じて発達支援を行う「多機能型重症児デイサービスTitta」、障害がある子どもの保護者のための就労支援「Kikka」、きょうだい支援「Linoha」を運営しています。	医療的ケアや重度の障害があっても、もっと欲張りになれる社会を目指して様々な活動を行なっています。	古河市周辺	医療的ケア児、重症心身障 害児、きょうだい児、保護 者
8	NPO法 人	ナラノン ファミリー グループ ジャパン				身近な人の薬物（覚せい剤、シンナー、処方薬、市販薬など）の問題で苦しんでいる家族や友人達が、12ステップを実践しながら回復し、希望のメッセージを、まだ苦しんでいる家族や友人達に希望のメッセージを伝えていくことです。	全国（茨城県は水戸、筑西、牛久、つくばの4グループ）	薬物依存症の家族や友人達
9	NPO法 人	茨城県断酒 つくばね会	100万〜 1,000万円	50〜100 名	酒害に悩む酒害者とその家族を救済することと、アルコール依存症の正しい理解と病気に対する偏見をなくすため、公益性のある活動を推進するために設立した。	茨城県に於いて、アルコール依存症に関する啓蒙を行い、酒害の及ぼす社会悪の防止に努めると共に、自らの意志により断酒生活を実行しようとする者の社会性回復の促進を図り、もって広く保健、社会福祉に寄与することを目的とする。	水戸市、鹿嶋市、石岡市、土浦市、牛久市、龍ケ崎市、守谷市、筑西市	酒害者とその家族、行政・医療の支援者など、どなたでも

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	18. 年間財 政規模	19. 会員 数	20. 設立経緯	21. 団体の目的	22. 主な活動 対象地域	23. 支援対象
10	NPO法 人	茨城依存症 回復支援協 会	3,000万円以 上	50～100 名	薬物依存症と精神・知的などの重複障害を抱え、薬物依存からの回復だけではなかなかすぐに社会復帰につなげられない方たちが、それぞれに合った生きられる場所を創るために設立。	一人での社会復帰が困難な当事者たちが、仲間と共に作業を通じて、地域社会とつながり、社会の一員として自立した生活を目指す。	笠間市	薬物・アルコール・ギャンブル等の依存症と精神などの重複障がい者
11	一般社 団法人	ギヤマノン			1989年日本においてギャンブル依存症者本人の自助グループGA（ギャンブラーズ・アノニマス）が発足し、続いて1991年に日本においてGAM-ANON（ギヤマノン）が発足された。	医師・カウンセラーなどは同席せず、ギャンブル依存症本人の家族・友人という同じ立場の人たちが集まって悩みや苦しみを分かち合い、勇気と元気をもらうために各地でミーティングが行われています。	全国	ギャンブル依存症者の家族・友人
12	公益社 団法人	いばらき被 害者支援セ ンター	1,000万～ 3,000万円	50～100 名	設立当時、サリン事件・ハイジャック・無差別テロ・航空機事故・大震災のような大型犯罪・大型災害の発生という新たな事態を迎えて、社会が大きく変わろうとしていた。長いこと信じられていた「安全と水はタダ」といった観念が通用しなくなったにもかかわらず、被害者を支援する公的・私的機関が十分に整備されておらず、被害者は諸外国と比べて極めて悲惨な現状に置かれていた。 おりしも発生した阪神・淡路大震災の経験を通して、ボランティアへの関心が高まってきたことと相成り、諸外国の被害者支援の組織を参考に、被害者支援に関心のある者たちが集まり、わが国初めての本格的な被害者支援センターを設立する運びとなった。	犯罪、事故、災害等の被害者並びにその家族及び遺族（以下「犯罪被害者等」という。）に対して精神的支援その他各種支援活動を行うとともに、社会全体の被害者支援意識の高揚を図り、もって被害者等の被害の回復と軽減に資すること。	県内全域	犯罪被害者等
13	NPO法 人	スキマサ ポートセン ター			スキマサポートセンターは犯罪を繰り返させない社会をめざしています。 家族が本人を支えられるように、また本人が自立できるよう、もう被害者を生まないように。これまで支援の対象ともなされず、セーフティネットの「隙間」にいた犯罪加害者のご家族に対する支援を中心に行っています。		大阪を中心に関西エリア、他関東エリア等も出張による対応可能	犯罪加害者家族、犯罪加害者本人。問題行動の内容は問いません。
14	ボラン ティア 団体	茨城県難病 団体連絡協 議会	100万～ 1,000万円	300名以 上	県内の難病患者団体で協議会設立	難病患者の医療福祉の向上	県内全域	難病患者・家族
15	一般社 団法人	日本ケア ラー連盟	1,000万円～ 1,000万円	100～ 300名	2009年当時、関係者での研究会の折、精神障害のお子さんを紹介している参加者から、ケアしている者へサポートが欲しいとの意見があり、世界の介護者支援の仕組みなどを調査研究。超高齢化が進む日本にこそケアラー支援が必要との共通認識の下、ケアラーの実態や抱える課題を可視化し、具体的な調査や政策・施策の提起をする活動を開始した。	① ケアラーの課題を明らかにし、ケアラー支援の必要性を訴える。 ② ケアラーの健康と生活、人権を守る。 ③ 法制化を図り、社会全体でケアラーを支えるしくみをつくる。 ④ ケアラー支援で持続可能な社会を作る。	全国	全世代のケアラー（ただし、直接的な個別支援ではなく、中間支援や支援ツールの提供などが中心）

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	18. 年間財 政規模	19. 会員 数	20. 設立経緯	21. 団体の目的	22. 主な活動 対象地域	23. 支援対象
16	NPO法人	ともに歩む 認知症の 会・茨城			2015年交流の場で出会った認知症本人と介護家族等が、自分たちが体験している貴重な体験を語れる場所、そして主体的に活動できる会を作りたいと熱い思いで設立。認知症本人と介護家族等が集まれる場所を作り、活動しながら2017年NPO法人化。	・支えられる側と支える側に分け隔てるのではなく、認知症とともにによりよく生きていくことが出来る社会を目指します。 ・認知症の人及び家族等の尊厳を守ります。 ・住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けられることを支援します。	県央地域	認知症に関わる悩みを抱えている方
17	NPO法人	認知症介護 家族の会う さぎ	3,000万円以上	10～30名	在宅で認知症の介護をしている家族の身体的・精神的負担は重く、介護離職や家庭崩壊まで至るケースもある。認知症は徘徊等の症状もあり、これは家族だけの問題ではなく地域の問題と考えている。認知症の介護は決して一人で抱え込まないでという思いから設立に至った。	この法人は、認知症の人と介護家族及び地域の人々に対して、認知症介護普及啓発事業、介護相談事業、介護家族交流事業、介護保険法に基づく居宅サービス事業等を行い、認知症介護家族のみならず地域の人々の認知症への理解が深まり、認知症の人とその家族を地域の人々で支える意識が啓発され、福祉等のサービスの質を向上させることに寄与することを目的とする。	稲敷市	認知症の人とその介護家族、地域の高齢者又は認知症に関心のある方、地域の全ての人々
18	ボラン ティア 団体	日立市そよ かぜの会	10万円	20名	平成30年に役員の高齢化により、会の閉鎖が決定されたが、介護されている方々への支援の重要性を考慮し、有志が集まり、活動規模を介護者中心に絞り、継続することに決定	認知症の人を介護する家族等が交流や情報交換を通してお互いに支えあい会員同士の連帯感を深めるとともに福祉の向上を図る	日立市	認知症の人の介護で悩んでおられる方

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	18. 年間財 政規模	19. 会員 数	20. 設立経緯	21. 団体の目的	22. 主な活動 対象地域	23. 支援対象
19	ボラン ティア 団体	ひまわりの 会	10万円未満	10名未満	私（平山）の母が認知症になり、この病気を理解することができず、どうしてよいのか分からない日々が続き、言葉で母にきつくあたったこともあり。そんな中同じ介護家族の方と話す機会があり「そんなの当たり前のあるあるだよ」と体験談を笑顔で語ってくれ、心が「フツ」と軽くなり、帰宅後母に優しく接することができた時のことを今でも覚えています。 認知症の介護家族は周りに相談することもできず、一人悩み・苦しんでいる方がとても多く、同じ思いを持つ仲間と安心して語れ、心が軽くなれる場所を目指し、介護家族と共に設立しました。	認知症のご本人と介護家族が、仲間と共に心穏やかに住み慣れた場所で過ごせる様に。	取手市	認知症のご本人と介護家族
20	ボラン ティア 団体	不登校・多 様な学び ネットワー ク 茨城	10万円未満	100～ 300名	フリースクールなど一支援団体では運営や経営に悩むことも多いため、皆でつながり共に考え、支え合う仕組みが必要だと感じた。また、不登校の子どもたちを取り巻く状況は様々な社会的課題が重なっており、支援者・学校・行政・地域の方が連携し、様々な方面から取り組んでいく必要性を感じたこと。	1. 支援者同士がつながり支え合う。 2. 子ども同士が県レベルでつながり、やりたいことを実現していくサポートをする。 3. 行政・学校・地域・社会と共に、子どもを取り巻く環境をより良くしていく。	県内全域	不登校や多様な学びの力になりたいという方はどなたでも。（支援者として）
21	ボラン ティア 団体	ami seed	100万～ 1,000万円	10～30名	2020年コロナ最初の自粛中に、多くのひとり親家庭や子どもたちなどの生活に影響する社会になるのを予測。生活困窮、孤独孤立を防ぎ地域が繋がりが寄り添い助けあう社会にするため団体を設立。	できる人ができる事で助けあい寄り添い、共に支えあいながら安心して暮らせる地域の取り組みをすることで、生活困窮・孤独孤立を防ぐ目的がある。	県南・県西	不登校、ひきこもりがちなお子さんや若者、生活困窮、ひとり親家庭、独居高齢者
22	ボラン ティア 団体	ひきこもり 不登校/つ ながり考え る鹿行の会	10万円未満	10名未満	全国でひきこもりは146万人、不登校は24万人余。孤立を防ぎどこかにつながってほしい、適切な支援が必要、という思いで会を立ち上げた。特に鹿行地区では支援団体がきわめて少ない状態だった。	①ひきこもり不登校の家族との相談活動＝対話を通して、「理解と対応」をより深め、より適切なものにし、「親が変われば子が変わる」をめざす。 ②ひきこもり不登校に関する地域市民の理解を広げる取り組みをする。	鹿行地区、県内 全域	ひきこもり不登校の家族および当事者

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	18. 年間財 政規模	19. 会員 数	20. 設立経緯	21. 団体の目的	22. 主な活動 対象地域	23. 支援対象
23	ボラン ティア 団体	てふてふの 会	10万円未満	約10名	県内の自立相談支援室やジョブカフェなど相談現場の相談員から、「当事者の深刻さはもちろんだが、それ以上に当事者の親が深刻に悩んでいる。親を何とかしたい」と、親の支援の必要性を訴える声が多く寄せられたこと。		水戸市	ひきこもりがちな方のご家族や支援者ならどなたでも
24	ボラン ティア 団体	難病カフェ アミーゴ	10万円未満	10名未満	難病当事者である設立スタッフの中で「難病患者や家族（支援者）を対象に、疾患を問わず申込不要・参加費無料で交流会ができないか」という案があり、気軽に立ち寄れる「難病カフェ」というネーミングで月に一度、水戸方面（奇数月）・土浦・つくば方面（偶数月）で試験的に交流会をスタートした。	難病であることで患者は生きづらさを、家族や支援者はそのサポートに不安を感じ孤立しているケースが多い。カフェのように当事者同士が気軽に交流する場を設けることで、情報共有や居場所の提供を行い個々のQOL向上を目指す。	水戸市、土浦市、つくば市	難病患者や障害者本人やご家族
25	認定 NPO法 人	水戸子ども の劇場	3,000万円以 上	100～ 300名	1971年テレビの普及によって外で遊ぶなくなったり、人との関わりが少なくなってきたことを心配した当時の親たちが、「子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を！」を合言葉に作ったのがはじまり。	水戸市及び周辺地区住民に対して、子どもの夢を育てる文化や芸術の振興と、豊かな人間性を育む体験活動及び児童文化の研究と、子どもの自主的な活動を支え子どもの社会参画の支えとなる人材の育成に関する事業を行い、豊かな人づくりと文化的地域づくりに寄与することを目的とする。	水戸市及び近隣 市町村	多胎児サークルかるがも： 多胎児、多胎児家族、支援者ならどなたでも comodo～コモド～個性ある子育て家族のサロン：発達に気になる、関係がとりにくい、HSC、園や学校へ足が向かない子などの家族、支援者ならどなたでも こどもの居場所ポルタ：学校へ足が向かない小学生～中学生、保護者（水戸市以外にお住まいのかたもOK!）、親子
26	ボラン ティア 団体	双子サークル かみすつ いん	10万円未満	10名未満	代表の私の実家が県外にあり、里帰りから帰った時に知り合いの双子友達にゼロでした。「神栖にも双子サークルがあったらいいのに」と思ったのが、サークル立ち上げのきっかけです。	多胎児育児をしている人同士の交流や情報交換	神栖市およびその近隣(千葉県を含む)	双子、三つ子を育てる親、その家族、妊娠中の方

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	18. 年間財 政規模	19. 会員 数	20. 設立経緯	21. 団体の目的	22. 主な活動 対象地域	23. 支援対象
27	ボラン ティア 団体	ゆったりカ フェ龍の会	10万円未満	10名未満	NPO法人全国自死遺族総合支援センター事務局長としてやってきましたが、茨城に「わかち合いの会」がなく、地元で活動しようと思いました。	自死、自殺などで大切な人を亡くした人が偏見にさらされることなく悲しみと向き合い、必要かつ適切な支援を受けながらその人らしい生き方を再構築できるように支援していきたい。	県内全域（県外からの参加者もあり）	大切な人を自死（自殺）で亡くされた方
28	ボラン ティア 団体	茨城県里親 連合会					県内全域	里親・里子や支援者ならどなたでも
29	任意団 体	グリーフサ ポートいば らき ぶ るすかい			グリーフサポートいばらきは死別体験をした子どものグリーフをサポートする活動の場として、子どものグリーフサポート活動を約10年以上実践している前防衛医科大学校精神看護学講座教授の高橋聡美氏が発起人となり、2019年に任意団体として北関東地方で初めて設立された。	大切な人を亡くした子どもに対するグリーフサポートを行うこと	県内全域	死別体験をした子どもとその保護者
30	宗教法 人	正安寺グ リーフサ ポートカ フェ	10万円未満	10名未満	一般社団法人リヴオンのグリーフサポート連続講座を、正安寺住職、正安寺坊主とともに当事者数名が受講したことがきっかけで、正安寺でも開催の必要性を感じた。	「グリーフ」とは、大切な方を失うことによって生じる、その人なりの自然な反応・状態・プロセスのことです。悲しみや怒り、安堵感など、どのような感情も反応も、おかしいものではありません。「グリーフ」はそこから乗り越えるものとか、立ち直るものではなく、抱きながら歩むものです。そしてそれをケアしたり、サポートしたりするために「グリーフサポートカフェ」を開催しています。	県内外問わずどなたでも	大切な人を亡くされた方ならどなたでも
31	ボラン ティア 団体	Sanaの会		10名未満	全国的に子どもを亡くされた方々への心理的なサポートグループが数多く確認されています。しかし茨城県はこのようない活動がない状況でした。このため2020年に「Sanaの会」を立ち上げ、子どもを亡くされた方々への心理的な支援活動を行っております。	同じような思い、悲しみを共有することで自分一人ではないことに気づきます。自分だけではないと思うことで安心感が生まれます。そして少しずつ心が軽くなっていくのです。誰かと共に悲しみを乗り越え、元の自分に戻っていくお手伝いをするのが、Sanaの会の目的です。	県内全域	流産・死産を含む子どもを亡くされた遺族
32	認定 NPO法 人	千葉県東葛 地区・生と 死を考える 会	100万～ 1,000万円	100～ 300名	上智大学名誉教授の故アルフォンス・デーケン氏が三つの目標①生と死の教育②死別体験者へのグリーフケア③ホスピス運動を掲げ「生と死を考える会」を設立し、当会の名誉会長水野治太郎（麗澤大学名誉教授）が賛同し、千葉県東葛地区にも設立をと願ったことによる。	自他のいのちの完成を目標に、生と死をめぐる諸問題を広く市民に投げかけ、相互の対話を促進することで、豊かな社会づくりに寄与すること（定款より）	柏市	がん等の病気当事者 遺族等の死別体験者

主なお悩み
関係するお悩み

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	24. 関わる本人や家族のお悩み																				25. ヤングケアラーへの関わりの有無										
			障がい					依存症					その他										ヤングケアラーを サポートしている ／過去にサポート した	ヤングケアラーを サポートしてはい ないが、今後利用 者に含まれる可能 性はある	ヤングケアラーを サポートしていな いし、今後利用者 に含まれる可能性 もない	その他	その他の内容						
			知的障 がい	精神障 がい	摂食障 がい	発達障 がい	身体障 がい	医療的 ケア児	アル コール 依存	薬物依 存	ギャン ブル依 存	買い 物・浪 費・借 金依存	窃盗症	ネット 依存	ゲーム 依存	性依存	犯罪被 害・加 害	ヤング ケア ラー	認知症	不登校	ひきこ もり	難病	多胎児	里親	自死	グリー フケア	外国 ルーツ						
1	NPO法 人	ソワンアン ドソワレ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>											<input type="checkbox"/>						
2	任意団 体	茨城県自閉 症協会	<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>																										<input type="checkbox"/>	
3	一般社 団法人	茨城県手をつなぐ育成 会	<input checked="" type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							<input type="checkbox"/>		
4	認定 NPO法 人	いばらき子 どもの虐待 防止ネット ワークあい	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>		

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	24. 関わる本人や家族のお悩み																				25. ヤングケアラーへの関わりの有無									
			障がい					依存症							その他								25. ヤングケアラーへの関わりの有無									
			知的障 がい	精神障 がい	摂食障 がい	発達障 がい	身体障 がい	医療的 ケア児	アル コール 依存	薬物依 存	ギャン ブル依 存	買 い 物・浪 費・借 金依 存	窃 盗 症	ネッ ト 依 存	ゲ ー ム 依 存	性 依 存	犯 罪 被 害・加 害	ヤ ン グ ケ ア ラ ー	認 知 症	不 登 校	ひ き こ も り	難 病	多 胎 児	里 親	自 死	グ リ ー フ ケ ア	外 国 ル ー ツ	ヤ ン グ ケ ア ラ ー を サ ポ ー ト し て い る ／ 過 去 に サ ポ ー ト し た	ヤ ン グ ケ ア ラ ー を サ ポ ー ト し て は い な い が 、 今 後 利 用 者 に 含 ま れ る 可 能 性 は あ る	ヤ ン グ ケ ア ラ ー を サ ポ ー ト し て い な い し 、 今 後 利 用 者 に 含 ま れ る 可 能 性 も な い	そ の 他	そ の 他 の 内 容
5	ボラン ティア 団体	肢体不自由 児・医療的 ケア児の家 族会 そら へち	○	○	○	○	●	○								○												○				
6	NPO法 人	かけはし ねっと	○	○		○	○	●								○												○				
7	一般社 団法人	Burano	○				○	●								○												○				
8	NPO法 人	ナラノン ファミリー グループ ジャパン							●																							
9	NPO法 人	茨城県断酒 つくばね会		○	○				●	○	○																		○		アルコール依存症は、酒害 者本人だけではなく、家族 ぐるみの病気だから。	

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	24. 関わる本人や家族のお悩み																				25. ヤングケアラーへの関わりの有無									
			障がい							依存症							その他						25. ヤングケアラーへの関わりの有無									
			知的障 がい	精神障 がい	摂食障 がい	発達障 がい	身体障 がい	医療的 ケア児	アル コール 依存	薬物依 存	ギャン ブル依 存	買い 物・浪 費・借 金依存	窃盗症	ネット 依存	ゲーム 依存	性依存	犯罪被 害・加 害	ヤング ケア ラー	認知症	不登校	ひきこ もり	難病	多胎児	里親	自死	グリー フケア	外国 ルーツ	ヤングケアラーを サポートしている ／過去にサポート した	ヤングケアラーを サポートしてはい ないが、今後利用 者に含まれる可能 性はある	ヤングケアラーを サポートしていな いし、今後利用者 に含まれる可能性 もない	その他	その他の内容
10	NPO法 人	茨城依存症 回復支援協 会	○					○	◎																		○					
11	一般社 団法人	ギャマノン							◎																			○	自助グループのため、ご本人の参加意志があれば年齢に関わらず参加できます。			
12	公益社 団法人	いばらき被 害者支援セ ンター													◎												○					
13	NPO法 人	スキマサ ポートセン ター	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	◎	○			○								○					
14	ボラン ティア 団体	茨城県難病 団体連絡協 議会	○	○			○													◎								○				
15	一般社 団法人	日本ケア ラー連盟																								○						

行 番 号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	24. 関わる本人や家族のお悩み																				25. ヤングケアラーへの関わりの有無															
			障がい							依存症							その他						ヤングケアラーを サポートしている ／過去にサポート した	ヤングケアラーを サポートしてはい ないが、今後利用 者に含まれる可能 性はある	ヤングケアラーを サポートしていな いし、今後利用者 に含まれる可能性 もない	その他	その他の内容											
			知的障 がい	精神障 がい	摂食障 がい	発達障 がい	身体障 がい	医療的 ケア児	アル コール 依存	薬物依 存	ギャン ブル依 存	買 い 物・浪 費・借 金依 存	窃 盗 症	ネッ ト 依 存	ゲ ー ム 依 存	性依 存	犯 罪 被 害 ・ 加 害	ヤ ン グ ケ ア ラ ー	認 知 症	不 登 校	ひ き こ も り	難 病	多 胎 児	里 親	自 死	グ リ ー フ ケ ア	外 国 ル ー ツ											
16	NPO法人	ともに歩む 認知症の 会・茨城		○												○	◎			○																		
17	NPO法人	認知症介護 家族の会う さぎ		○								○					◎							○														
18	ボラン ティア 団体	日立市そよ かぜの会															◎																					

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

2023年3月31日現在

認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	24. 関わる本人や家族のお悩み																					25. ヤングケアラーへの関わりの有無										
			障がい						依存症						その他									ヤングケアラーを サポートしている ／過去にサポート した	ヤングケアラーを サポートしてはい ないが、今後利用 者に含まれる可能 性はある	ヤングケアラーを サポートしていな いし、今後利用者 に含まれる可能性 もない	その他	その他の内容						
知的障 がい	精神障 がい	摂食障 がい	発達障 がい	身体障 がい	医療的 ケア児	アル コール 依存	薬物依 存	ギャン ブル依 存	買 い 物・浪 費・借 金依 存	窃 盗 症	ネッ ト 依 存	ゲ ー ム 依 存	性 依 存	犯 罪 被 害 ・加 害	ヤ ン グ ケ ア ラ ー	認 知 症	不 登 校	ひ き こ も り	難 病	多 胎 児	里 親	自 死	グ リ ー フ ケ ア	外 国 ル ー ツ										
23	ボラン ティア 団体	てふてふの 会				○											○	◎										○						
24	ボラン ティア 団体	難病カフェ アミーゴ		○		○	○	○											◎										○					
25	認定 NPO法 人	水戸こども の劇場	○			○	○	○									○				◎							○						
26	ボラン ティア 団体	双子サーク ルかみすつ いん																														○		

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	26. 活動内容（相談対応可能な内容なども含む）	27. ケアラー向け相談対応の 内容、方法、料金など	28. ケアラー向け研修訓練	29. 他の福祉機関への相談者 の紹介	30. 提携している支援ネット ワーク	31. 連携している公的機関
1	NPO法 人	ソフアン ドソフレ	<ul style="list-style-type: none"> あらゆるケアラーの方を対象に、相談支援、交流などの居場所支援を行います。 障がいや病氣、介護に関する情報提供および講演活動などによる啓発を行います。 障がいや病氣、介護などが起因となって収入に困難が生じた方の就労に関する事業。 	毎週火曜10時～15時に電話相談 （予約優先） 予約制でzoom相談可 相談料 無料	就労に困っているケアラー向けに、パソコンやハンドメイドその他の職業訓練を行います。料金は無料（実費負担の場合あり）。	相談者様の同意を得てご紹介することもあります。	認定NPO法人茨城NPOセンター・コムズ、NPO法人ちゃんみよTV、NPO法人ほっとピア、NPO法人にじいろ、NPO法人きらきらスペース、NPO法人茨城居場所研究会	茨城県福祉部福祉政策課、茨城県社会福祉協議会、牛久市社会福祉協議会、牛久市福祉事務所
2	任意団 体	茨城県自閉 症協会	障がいのある方とその家族が参加する事業として「サマーキャンプ」「協会キャンプ」「スケート」等を開催しています。どれも会員同士の交流に役立っています。サマーキャンプでは災害時のための避難所体験も兼ねられるように、県内の研修施設を利用し、テント泊の体験もしています。 また、「自閉症セミナー」では、会員からのアンケートを参考に、現在の障がい者家族の課題からテーマを選び、少しでも課題解決に向けて学び考えることができるような講演会を開催しています。この自閉症セミナーは、会員だけでなく一般の方の参加も募っています。 県内を5つの地区（県北ひたちなか・中央・県西・県南・鹿行）にわけ、それぞれの地区での活動も地区役員によって企画され開催されています。			相談があった場合、内容によって県発達障害者支援センター等を紹介することがある。		<ul style="list-style-type: none"> 県発達障害者支援センターあい 県発達障害者支援センターcolorsつくば 県障害福祉課
3	一般社 団法人	茨城県手をつなぐ育成 会	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害者の権利擁護と地域生活の支援 会員等に対する研修及び広報 単位育成会への支援及び全国育成会連合会、都道府県育成会など目的を同じくする団体との連携 国、県、市町村及び関係機関に対する働きかけと連携 社会啓発 障害者相談 オレンジライン…被虐待体験や家族関係、人間関係に悩みを抱えている方の電話相談 オレンジサロン…被虐待体験により悩みを抱える方の居場所 家族に関わる法律相談の電話相談 講演会 研修会 	「なんでも相談室」（県受託）を開設し、電話相談に応じています。		必要に応じて本人の同意を得て、紹介しています。	一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会、茨城県特別支援学校知的障害教育校長会、茨城県教育研究会特別支援教育研究部、茨城県肢体不自由児協会、茨城県肢体不自由児者父母の会連合会など	茨城県、茨城県教育委員会、県内の市町村、県内の社会福祉協議会など
4	認定 NPO法 人	いばらき子 どもの虐待 防止ネット ワークあい	<ul style="list-style-type: none"> オレンジライン…被虐待体験や家族関係、人間関係に悩みを抱えている方の電話相談 オレンジサロン…被虐待体験により悩みを抱える方の居場所 家族に関わる法律相談の電話相談 講演会 研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 電話相談により、対応、必要があれば関係機関等に行きます。 相談料・利用料はありません。 	特にケアラー向けの研修・訓練は行っていません。個別に情報の提供は行います。料金はかかりません。	相談者本人の希望があれば、本人同意のもとに、他機関への紹介を行います。	特定の団体と常に連携しているわけではなく、必要に応じて連絡を取り合っています。	児童相談所・各市町村関係課など

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	26. 活動内容（相談対応可能な内容なども含む）	27. ケアラー向け相談対応の 内容、方法、料金など	28. ケアラー向け研修訓練	29. 他の福祉機関への相談者 の紹介	30. 提携している支援ネット ワーク	31. 連携している公的機関
5	ボラン ティア 団体	肢体不自由 児・医療的 ケア児の家 族会 そら 〜ち	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEやzoomでの交流会 ・就園、就学、防災等の勉強会 ・きょうだい児支援 ・家族や地域の方が参加するイベント ・写真展や展示会等の啓発活動 ・インクルーシブな社会の実現 	LINEやzoomでの相談。イベント等に参加する。		他の家族会や、福祉サービス事業所等の情報提供		守谷市保健センター 守谷市社会福祉課 守谷市市民活動支援センター
6	NPO法 人	かけはし ねっと	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを必要とする子どもの家族同士・支援者との交流（オンライン・対面） ・ウェブサイト、SNS等による情報発信 ・シンポジウムや講演会開催などによる地域への啓発 ・育児や療養生活、福祉、医療、教育環境等に関する相談へ対応 	いつでも、随時相談に応じます。まずはメール等で連絡ください。ご要望に応じ対面、電話、メール、オンライン等でお話しをお伺いします。料金無料。	定期的なプログラムはなし。ケアラーや支援者等に向けた、講演会や研修会などは行うことがあります。	本人の同意を得て紹介させていただくこともできます。家族会や公的な相談窓口等の情報提供を必要に応じて行っています。	全国医療的ケアライン（アイライン） 全国小児在宅医療研究会家族連絡会 つくば市福祉団体等連絡協議会	茨城県、近隣市町村担当課、医療機関
7	一般社 団法人	Burano	医療的ケア児や重症心身障害児にまつわる様々な困りごとに対応しています。			必要に応じてお繋ぎしています。	病院、福祉事業所	近隣市町
8	NPO法 人	ナラノン ファミリー グループ ジャパン	相談の受け付けはしていません。直接ミーティング会場へお越しください。					
9	NPO法 人	茨城県断酒 つくばね会	<ul style="list-style-type: none"> ●個人向け相談・支援 茨城県内9断酒会により、酒害相談を実施（月曜を除き毎日開催、時間帯は各会場ごと設定（料金無料））。 各相談窓口まで、お問い合わせください。 			精神保健福祉センター・アルコール専門病院の紹介豊後荘病院・筑波大付属病院など	公益社団法人全日本断酒連盟傘下の全国断酒会	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県福祉部 ・茨城県精神保健福祉センター ・茨城県内保健所 ・茨城県内保健センター ・その他

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	26. 活動内容（相談対応可能な内容なども含む）	27. ケアラー向け相談対応の 内容、方法、料金など	28. ケアラー向け研修訓練	29. 他の福祉機関への相談者 の紹介	30. 提携している支援ネット ワーク	31. 連携している公的機関
10	NPO法 人	茨城依存症 回復支援協 会	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物等の依存症と精神・知的・発達等との重複障害を抱えた仲間たちが、自立した生活を目指して、自前の畑での農作業や委託された除草作業を通じて地域社会と交流する機会を持つ。 ・薬物依存からの回復を目指し、自助グループを通じて同じ悩みを抱えた仲間たちと交流することを支援。 ・いったん壊れた家族関係の再構築のために、当事者と家族との交流の場を設ける。 ・重複障害を持つ当事者の家族からの相談にも応じ、回復支援を行っています。 	<p>随時相談に応じます。電話対応後、日程調整して面談も可。相談料はいただきません。</p>		<p>茨城ダルク家族会をメインに、他機関で行っている家族会を紹介。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者には、茨城ダルクを通じて、全国のダルク・マック ・家族には、NPO法人全国薬物依存症者家族会連合会を通じて各家族会 	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県精神保健福祉センター ・茨城県立こころの医療センター
11	一般社 団法人	ギャマノン	<p>ミーティングではギャマノン書籍の読み合わせの他、言いつばなし、聞きつばなしの分かち合いが行われます。原則、相談やアドバイスは行いません。</p>				<p>G Aとは協力関係にありますが、ギャマノンはいかなる機関、団体からも独立しています。</p>	
12	公益社 団法人	いばらき被 害者支援セ ンター	<p>近年、何の落ち度もなく突然悲惨な被害に巻き込まれる事件・事故は後を絶たず、県民の誰もが、ある日突然被害者になる可能性がある。当センターは、上記目的達成のため右記の事業を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害者等に対する電話及び面接等の相談事業 ・被害者等への役務の提供他による直接的支援事業 ・当センターが支援した遺族を対象とした自助グループ支援事業 ・被害者等支援に関する広報及び啓発事業 ・支援活動員等の養成及び研修事業 				<p>公益社団法人全国被害者支援ネットワーク 同ネットワークに加盟する都道府県の犯罪被害者支援団体</p>	<p>茨城県、茨城県警察、各市町村、県及び市町村社会福祉協議会、水戸地方検察庁、法テラス茨城、茨城県精神保健福祉センター、茨城県福祉相談センター、茨城県発達障害支援センター、茨城県立こころの医療センター</p>
13	NPO法 人	スキマサ ポートセン ター	<p>犯罪加害者家族の支援、犯罪加害者本人の更生支援・再犯防止。</p>			<p>必要に応じて他機関の情報提供・他機関連携を行います。</p>		
14	ボラン ティア 団体	茨城県難病 団体連絡協 議会	<p>難病に関わる相談 難病に関わる医療講演開催 患者会の支援</p>	<p>難病に関わる相談があれば電話による相談無料。</p>		<p>相談内容により難病相談支援センターなどへ紹介。</p>		<p>茨城県難病相談支援センター</p>
15	一般社 団法人	日本ケア ラー連盟	<ul style="list-style-type: none"> ①主に、ケアラー・ヤングケアラー支援に取り組む活動団体や、ぴあサポートグループ、自治体や市民活動団体などへの中間支援 ②支援ツールや研修プログラム等の提供 ③政策提言 ④調査研究など 	<p>具体的な相談・支援は個別支援を行う支援団体をお願いしている。支援ツールとして、ケアラー手帳、ケアラー緊急時の第三者への引き継ぎ書「ケアラーのバトン」などのツールは提供している。</p>	<p>フォーラムやイベントを通じて研修を行うことはあるが、個別の訓練やケア技術の指導などは、当連盟では行っていない。</p>	<p>電話相談窓口や、各地の支援団体などの紹介は行っている。</p>	<p>全国介護者支援団体連合会をはじめ、ヤングケアラーのぴあサポートグループなど、全国の関係団体とのネットワーク。</p>	<p>厚生労働省、自治体、社会福祉協議会、各議会など。</p>

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	26. 活動内容（相談対応可能な内容なども含む）	27. ケアラー向け相談対応の 内容、方法、料金など	28. ケアラー向け研修訓練	29. 他の福祉機関への相談者 の紹介	30. 提携している支援ネット ワーク	31. 連携している公的機関
16	NPO法人	ともに歩む 認知症の 会・茨城	<ul style="list-style-type: none"> ・地域向け認知症カフェ「どなりの縁側」 毎月第2土曜14時～15時 茨城県衛生会館1F ・家族向け認知症カフェ「オレンジサロン」 毎月第3日曜10時～12時 水戸市ボランティアセンターミオス (どちらもオンライン同時開設) ・認知症本人の悩み相談（認知症当事者による相談可） ・認知症に関わる家族や介護者等の悩みの相談 ・認知症に関する講演会や学習会の開催 	<p>認知症カフェ参加費：100円（お茶代として） 但し感染症拡大時期はお茶提供なしのため無料</p> <p>認知症カフェ：オンライン（ZOOM）と会場でのハイブリッド形式を開催</p> <p>個別相談：無料（要事前予約・オンラインでも可能）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の開催。 ・認知症本人や家族による講演。料金は要相談。 		<p>一般社団法人日本認知症ワーキンググループ レビー小体型認知症サポートネットワーク茨城</p>	<p>水戸市高齢福祉課 公益社団法人茨城県看護協会 茨城県社会福祉協議会 水戸市社会福祉協議会</p>
17	NPO法人	認知症介護 家族の会 うさぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護普及啓発事業では、年2回「認知症介護教室」を開催し、講師を招いて、認知症や介護に関する講演会をしている。 ・その教室の2部で、「認知症カフェ」を行い、介護相談事業、介護家族交流事業の場としている。 ・介護相談については、随時受けている。 ・介護保険法に基づく居宅サービス事業では、「デイサービスうさぎ」「訪問介護うさぎ」「居宅介護支援事業所うさぎ」を運営している。 	<p>介護相談については、随時受けています。電話での対応や来所して頂けるのであれば、デイサービスうさぎで相談に応じています。無料。</p>	<p>認知症介護普及啓発事業では、年2回「認知症介護教室」を開催し、講師を招いて、認知症や介護に関する講演会をしています。</p> <p>認知症とは何か、また認知症に関する新しい情報提供や自宅での認知症介護の具体的な方法・介護の在り方等、それぞれの専門家をお願いしています。参加費無料。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や状況によっては、地域包括支援センターを紹介し、介護保険の利用をお勧めしています。 ・本人のご要望を伺い、ボランティア連絡協議会に連絡し、ボランティア団体を紹介して頂くこともあります。 	<p>社会福祉法人蒼天 生活協同組合バルシステム茨城栃木</p>	<p>茨城県、稲敷市高齢福祉課、稲敷市地域包括支援センター、稲敷市社会福祉協議会</p>
18	ボラン ティア 団体	日立市そよ かぜの会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月最後の火曜の定例会議：会員の介護の状況報告と相談 ・ブチ会：定例会議に参加できない人の希望日に合わせ少数での話し合い ・個人会：個人的に相談したい方のための話し合い ・認知症並びに介護に関する研修会：専門家をお呼びしての講義と会員による発表会 ・年度内に会報「そよかぜ」を9月と3月に発行し配布（市内交流センター、病院、スーパー店舗など各所） 	<p>随時相談に応じます。</p> <p>都合に合わせて個別にお話を聞きます。月1回の定例会は集団ですが初回は見学から大丈夫です。継続して入会希望の場合は年会費として1000円徴収して会を運営しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症並びに介護に関する専門家をお呼びしての研修会。参加者は無料。 ・会員が別の場所で研修した場合、その会員による発表会。 	<p>専門的な相談窓口として日立市高齢福祉課、居住地域担当の地域包括支援センターなどを紹介しています。</p> <p>その後はご相談するご本人の判断にお任せして見守っています。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・日立市高齢福祉課 ・日立市社会福祉協議会 ・地域包括支援センター

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	26. 活動内容（相談対応可能な内容なども含む）	27. ケアラー向け相談対応の 内容、方法、料金など	28. ケアラー向け研修訓練	29. 他の福祉機関への相談者 の紹介	30. 提携している支援ネット ワーク	31. 連携している公的機関
19	ボラン ティア 団体	ひまわりの 会	「Memoryの放課後 家族会」 月1回 不定期で月2回開催 「一人で悩まないで、あなたは一人じゃないよ」をコ ンセプトに、同じ思いを持つ介護家族が安心して話せ る居場所。 「Memoryの放課後 プラス家族と共に」 月1回開催 ご本人と介護家族が共に参加することで、家では見る ことの出来ない互いの素顔や、参加者同士の繋がりが 生まれ、共に安心して過ごせる居場所。			「Memoryの放課後 プラス家族 と共に」で、専門の講師による講 習会を不定期で開催予定。	一般社団法人MCI リング	
20	ボラン ティア 団体	不登校・多 様な学び ネットワ ーク 茨城	・ 支援者同士の交流会や、不登校に関する様々なテー マでの学習会 ・ 県内の不登校支援情報の発信（不登校・多様な学び 育ち応援サイト 等） ・ 個別の相談が来た場合は県内支援者へ橋渡し ・ 県や県内市町村との意見交換会や情報共有 ・ 子ども同士がつながる機会の提供 ・ 県内研究者との協同 ・ 議員向け学習会や意見交換会 ・ 他都道府県ネットワークとの交流、勉強会	当ネットワークとしては受けてお らず、該当団体を紹介。	不登校全般については当ネット ワーク世話人がお話できます。 特定のテーマ（H S C、読み書き 障害、性的マイノリティ、保護者 の声など）からの不登校の話につ いては、参加団体のうちの専門の 方を紹介します。	当ネットワークには様々な地域、 専門性の方がいるため、状況に応 じて該当団体へ繋がります。	・ 県内の不登校・多様な学びに関 わる支援団体122団体（当ネット ワーク参加者） ・ 他都道府県の不登校・多様な学 びに関わる30のネットワークや団 体	茨城県教育庁 義務教育課生徒支援・いじめ対 策推進室、特別支援教育課、高校教育課 茨城県総務部 総務課私学振興室 茨城県保健福祉部 子ども政策局 青少年家庭 課 茨城県教育研修センター教育相談課 茨城県公認心理士協会 茨城県青少年育成協会 茨城県立こころの医療センター児童・思春期外 来（ソーシャルワーカー） 茨城県発達障害者支援センター COLORSつく ば 県内各市町村教育委員会（挨拶まわり中）
21	ボラン ティア 団体	ami seed	無料学習支援、子ども食堂、フリースペースなどの居 場所として、自然に悩みを言える場所を開設してい る。ケアラーの家庭の中には、生活困窮も絡む。食料 支援（フードドライブや子ども食堂）でサポートでき る。	随時相談に応じます。 無料学習支援・食料支援即対応。		必要な機関などにご本人の同意を 得てつなぎながら、サポートして おります。	一般社団法人LANS	市町村社会福祉協議会
22	ボラン ティア 団体	ひきこもり 不登校/つ ながり考え る鹿行の会	・ ひきこもり不登校の家族・当事者の交流と学習。女 子会コーナー（居場所）。 ・ 家族・当事者の個別相談 ・ ひきこもり不登校の地域に開かれた学習会や講演会	随時、個別相談に応じる。電話予 約。利用料は公民館会議室利用料 としての520円。相談時間は90 分。		相談内容によっては、他機関を紹 介する。 他の親の会の紹介もする。		

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	26. 活動内容（相談対応可能な内容なども含む）	27. ケアラー向け相談対応の 内容、方法、料金など	28. ケアラー向け研修訓練	29. 他の福祉機関への相談者 の紹介	30. 提携している支援ネット ワーク	31. 連携している公的機関
23	ボラン ティア 団体	てふてふの 会	・ひきこもりがちな方のご家族同士が交流。 ・ルールはありません。悩みや不安を打ち明け、お互いへの理解を深め、ゆったりとした時間を共有します。	随時相談に応じます。 事前予約制 相談料：30分 1,000円～（交通 費別途）	てふてふの会を運営しているグッ ジョブセンターみとでは、ひきこ もりの基礎知識、当事者支援・家 族支援、発達障害の理解を深め る、発達障害支援SSTなど、必要 に応じて、グループまたは個人対 象に出前講座を行います。料金は 要相談。	・本人の同意を得て紹介すること もあります。 ・他機関で行っている親の会の情 報提供を必要に応じて行っていま す。	一般社団法人LANS、わせがく高 等学校水戸キャンパス、合同会社 ALMA・i（あるま・あい）、社会 福祉法人ナザレ園、一般社団法人 栃木県若年者支援機構	ハローワーク、ジョブカフェ、茨城県、市町村 社会福祉協議会、茨城県発達障害者支援セン ター、保健所、茨城県精神保健センター、茨城 県ひきこもり支援センター、茨城県水戸生涯学 習センターなど
24	ボラン ティア 団体	難病カフェ アミーゴ	奇数月は水戸方面、偶数月は土浦・つくば方面で交流 会を実施（コロナ禍である現在は休会中、今後の状況 により順次再開を検討中）。SNS、メール、電話など での相談は随時受付中。	SNS、メール、電話などで随時受 付中。		相談内容に応じて県相談支援セン ター、県難病団体連絡協議会、ハ ローワーク（難病就労サポー ター）へ繋ぐこともあります。	各患者会、他地域難病カフェ、関 東難病カフェネットワーク等	茨城県難病相談支援センター、ハローワーク （難病就労サポーター）、茨城県難病団体連絡 協議会、各患者会
25	認定 NPO法 人	水戸子ども の劇場	家族同士、スタッフとの交流	ホームページ申し込みフォームま たは電話での事前予約制。詳細は ホームページをご覧ください。 お電話でお問い合わせください。		・本人の同意を得てつなぐことも あります。 ・他機関で行っている会等の情報 提供を必要に応じて行っていま す。		
26	ボラン ティア 団体	双子サーク ルかみすつ いん	LINEオープンチャットを使った匿名・女性限定での情 報交換	LINEオープンチャットの参加は無 料。 オフ会（開催未定）は参加費100 円程度を予定。				

けあけあ ～ケアする人をケアする茨城の団体情報～

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	26. 活動内容（相談対応可能な内容なども含む）	27. ケアラー向け相談対応の 内容、方法、料金など	28. ケアラー向け研修訓練	29. 他の福祉機関への相談者 の紹介	30. 提携している支援ネット ワーク	31. 連携している公的機関
27	ボラン ティア 団体	ゆったりカ フェ龍の会	親を自死で亡くした子どもが不登校、ひきこもりにな っていることが多く、電話相談を受けたり、他団体 を紹介しています。					龍ヶ崎市社会福祉課 茨城県精神保健センター
28	ボラン ティア 団体	茨城県里親 連合会						
29	任意団 体	グリーフサ ポートいば らき ぶ るーすかい	死別体験をした子どもへの遊びを通したグリーフサ ポート。	随時相談に応じます。 無料。		本人の同意を得てつなぐこともあ ります。 他機関で行っている親の会の情報 提供を必要に応じて行っていま す。	協力を依頼している あしなが育英会レインボーハウス 茨城社会安全研究会 常磐大学地域連携センター	
30	宗教法 人	正安寺グ リーフサ ポートカ フェ	会の約束事として、守秘義務があるので安心してご参 加いただけます。また、発言も強要いたしません。お 茶を飲みながら、ゆったりとした時間を共有するこ とを目的にしています。				一般社団法人リヴオン	
31	ボラン ティア 団体	Sanaの会	お茶やお菓子を食べながら気軽に話をしましょう。話 す内容は何でも構いません。話したいことを話した いだけ、泣きたいときは泣きたいだけご自分が好きなよ うに、好きな話をしてみませんか？ 流産・死産の会「エンゼルクラス」、お孫様を亡くさ れた方の会「じいじ・ばあばの会」も開催していま す。	無料			iKizuku働く天使ママ ひたちなか市正安寺（グリーフサ ポートカフェ）	土浦市子ども包括支援課母子保健係 いばらきみんなのがん相談室
32	認定 NPO法 人	千葉県東葛 地区・生と 死を考える 会	・生と死に関する研修会、勉強会、講座の開催 ・病院施設のがん患者等への傾聴及びアロマトリート メント ・死別体験者のグリーフケア（分かち合いの会、電話 相談、個別相談）	（死別体験者を病気で家族等を世 話をしていたケアラーと考えるな ら）、 ・分かち合いの会/各地月8回開 催/2時間/無料 ・電話相談/月4回/2時間/一 人30～40分間/無料 ・個別相談/都度対応/90分間/ 無料	（スタッフを支援者としてケア ラーと考えるなら）グリーフカウ ンセリング講座の開催（以前は水 野が講師であったがそれに代わる ものを検討中）			柏市、松戸市、流山市、守谷市、千葉市、八千 代市、柏市社会福祉協議会

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	32. 活動を実施する上で大切にしていること	33. 団体の強み	34. 活動実績や成果	35. 活動で感じる社会的課題	36. ケアラーへのメッセージ	37. 備考
1	NPO法人	ソワンアンドソワレ	まずは相談者（ケアラー）さんの悩みによく耳を傾けます。気兼ねなく胸の内を吐き出すことで心が軽くなれるよう、普段から自らのケア経験談等を交えて雑談し、柔らかな雰囲気づくりに努めています。	スタッフのほとんどがケアラー当事者、ケアラー経験者になっており、相談者に寄り添った対応ができる環境を作っています。	成果として「市役所などの公的機関に行けばいいのか、どこに相談すればいいかわからず困っていた」、「話を聞いてもらえて、これまで流せなかった涙を流せた」などのお声をいただき、気持ちの受け皿となっている実感を得ています。	・ケアラーという概念をもっと浸透させる必要がある。（自らが支援対象だと気づいていない方が多い） ・ケアラー支援に対しては補助金などが整備されていないため、サポート側が支援に専念しづらい状況である。	いつ・どこで・誰が障がい者やケアラーになっても不思議ではありません。健康なときは忘れがちですが、人が生きている限り当たり前のことです。 家族や親しい人の介護では、なかなか人には話しづらいたくさんの苦労やつらさがあると思います。 私たちは、つらいときはつらいと言い、あなたがあなたのままに泣いたり笑ったりできる環境を用意しています。お気軽にお問い合わせください。	ハンドメイドやアロマグッズ作り、ミニ料理教室等の各種ワークショップも開催します。SNSやケアラー会員LINEでお知らせします。
2	任意団体	茨城県自閉症協会	会員の家族が楽しんで活動できる場であること。	保護者が主軸となっている団体であるため、保護者の視点からの活動ができること。会員家族が子どもの所属する場所とは違ったところで交流を持てること。		「親の支援なきあと」の問題。保護者の高齢化や亡くなることによって、障がいのある子どもを支援できなくなる時は必ずくるが、親が安心できるような社会資源が不足していること。	どうしていいのかわからないとき、一緒に考えることはできます。いつでもメールをください。	
3	一般社団法人	茨城県手をつなぐ育成会	障がいのある人が安心して暮らすことができるよう、地域での生活支援の仕組みが整い、障害者が社会参加・共生・自立ができる社会の実現を目指します。	知的障害児者とその家族で構成されており、全国組織もあり、障害への理解と福祉サービス制度の充実に貢献しています。	事業実施により、会員等の資質の向上と福祉サービスの充実に貢献しています。	障害種別に関わらず、障がいのある人への理解が十分ではなく、合理的配慮も浸透していないと感じています。	ケアラー支援の方策については、当会も積極的に関与していきたいと思っています。	
4	認定NPO法人	いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい	相談者の気持ちを大切にしています。相談に至るまでのつらさ、不安等、聞いてほしいことをたくさん抱えている方が多いからです。	会員の中に専門職の方がたくさんいるので、必要に応じて専門的なアドバイスがもらえます。	当事者同士で、話し合いをすることで共感が生まれ、精神的に安定してくると、新しい参加者のピアサポーターになっている事例が見受けられる。	日本では、子育て、障害、病気等のケアなどは第一義的に家族の責任とする考え方が根強く、その結果、心中、介護殺人等が起きている。そこまで至らなくても介護者がうつ状態に陥っている現実がある。	自分自身を大切にすることを、忘れないで下さい。	

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	32. 活動を実施する上で大切にしていること	33. 団体の強み	34. 活動実績や成果	35. 活動で感じる社会的課題	36. ケアラーへのメッセージ	37. 備考
5	ボラン ティア 団体	肢体不自由 児・医療的 ケア児の家 族会 そら へち	「障がいがあるから、やりたいことができない」ではなく「障がいがあるからこそ、できることがある」と考え、みんなが気持ちよく過ごせる社会にしていきたい。	当事者がいるのでリアルな話ができる。先輩のアドバイスを聞くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 写真展（守谷市内3ヶ所）、障がい者週間展示 勉強会（防災、障害基礎年金、就学） 座談会（特別支援学校、訪問リハビリ、訪問美容） イベント（ポッチャ体験、折り紙クラブ） オンライン交流 	障がい、医療的ケア、どんな問題を抱えているのか、を知ってもらうこと。	悩みを一人で抱え込まずに、お気軽にお問い合わせください。	
6	NPO法 人	かけはし ねっと	子どもの障がい特性や医療的ケア等の状況、家族構成、生活環境等それぞれ家族の抱える大変さは違います。そのことを受け止め、共感し、寄り添う気持ちを大切にしています。	医療的ケアを必要とする子どもを育てるママたちが立ち上げた会です。代表理事は障害者支援施設で相談員をしていた経験があり、社会福祉士の国家資格を有しています。経験と豊富な知識で受けとめることができ、ケアラー当事者だからこそ分かり合える、「独りじゃないよ」というメッセージを伝える力を持っています。	<p>新型コロナウイルス等感染拡大時期にあっても、オンラインビデオ会議ツールを使用し家族交流・余暇支援、地域の啓発等の事業を継続して行ってきました。</p> <p>行政との関係性維持にもつながり、医療的ケア児支援法（通称）が成立。各自治体が体制整備を進める中で、当事者の立場から意見、家族の声を伝える機会を頂くことができました。</p> <p>新型コロナウイルスに一家で罹患された医療的ケア児家族からの相談を受けました。辛い時理解してくれる人の存在、話ができる相手の存在に救われたと感謝の言葉を頂きました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療、福祉等支援サービスの地域偏在 ケアラーの離職防止。就労支援には医療・福祉資源（医療的ケア児の受け皿）の充実と、医療的ケア児やその家族への社会的な理解が必要不可欠 医療的ケア児受け入れのための看護師配置 医療的ケア児から者へ移行後の支援体制（子どもから大人へ。親なき後まで） 	お気軽にお問い合わせください。	
7	一般社 団法人	Burano	子どもたちを中心に考えること。	親の視点を生かした取り組み。	2018年より活動がスタートし5年目になりました。			
8	NPO法 人	ナラノン ファミリー グループ ジャパン	ナラノンは、メンバーの自由な献金により自立しているセルフヘルプグループです。入会の手続きや会員名簿などはなく、本名や住所・職業など話す必要はありません。また、特定の宗教とも関係がありません。ミーティングで話された事の秘密は守られます。					
9	NPO法 人	茨城県断酒 つくばね会	医療・行政との連携を図り、積極的なアウトリーチを行う。（酒害相談等）また同じ疾病を持つ仲間の体験談で共感でき、仲間と過ごせる場所が確保する。	アルコール依存症は生涯完治しない病気です。同じ病気の仲間と断酒継続を実践できること。	<ul style="list-style-type: none"> 酒害相談窓口県内9箇所で開催 機関紙「つくばね」発行 行政・医療との連携での研修会・セミナーの開催 酒害啓発活動推進 *平成28年厚生労働大臣賞受賞 	<ul style="list-style-type: none"> アルコール依存症が病気と言うことの認識不足（偏見持たれる病気） 相談し難い病気 	アルコール依存症は、家族ぐるみの病気です。気兼ねなく相談して下さい。	

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	32. 活動を実施する上で大切にしていること	33. 団体の強み	34. 活動実績や成果	35. 活動で感じる社会的課題	36. ケアラーへのメッセージ	37. 備考
10	NPO法人	茨城依存症回復支援協会	依存症者特有の症状や苦悩を、当事者スタッフが同じ気持ちを理解・共有し、再び薬物使用をせずに、それぞれに合った生活が持続出来るよう支援している。	・12名中8名が当事者スタッフで、利用者と同じ視線に立ち、問題解決を支援することができる。 ・全国の薬物関連施設・団体との連携。	・全国のダルクにつながったあとも、社会復帰が困難だった人たちが、グループホームを利用しながら自立し、薬物使用に至ることもほとんどなく、障害者就労継続支援B型の作業を通じて規則正しい生活を送れるようになっていきます。 ・家族も落ちついた生活をしていることに安心していただいています。 ・利用者からスタッフになった方も2名出ています。	依存症への社会的理解の低さ。特に薬物依存への偏見や拒否反応は強くあり、身近な問題として認知されることが大切と感じています。	世間体などを気にして、家族の問題として抱え込まないで、まずは相談することが大事です。	子供の薬物などの依存症の問題を解決していくには、関わる家族が本人との関係を変えていくことも大事です。本人が親の手を離れ自立した生活を目指すよう学んでいきましょう。
11	一般社団法人	ギャマノン	・アノニシティ（無名性）を守ること。 ・どんな宗教・政党・組織・団体にも縛られていないこと。	参加するには資格も会費も必要ありません。必要なのはただひとつ、強迫的ギャンブラーに悩まされている自分自身に幸せが欲しいという願いだけです。	現在全国200を越える会場でミーティングが行われています。年に一度「全国の集い」を開催しています。	ギャンブル依存症の一般の認知度・理解が低いこと。	家族（友人）にギャンブル依存症の問題があるかも、と思ったら、まず一度参加なさってみてください。	
12	公益社団法人	いばらき被害者支援センター	犯罪被害者は、生命・身体・財産などに対する直接の被害（一時被害）だけでなく、捜査機関、司法機関での事情聴取や医療機関での受診時などに被害の様子を何度も説明させられたり、その際、心無い言葉や態度で対応されたりした場合や、マスコミの取材や誤報、近所や職場などでの噂や好奇の目などによって「二次（的）被害」が起こる。また、被害に遭ったことによる精神的な苦痛から休職や失職に追い込まれたり、被害をめぐる家族間の不和や罪悪感が家庭崩壊につながる事例なども二次（的）被害の一種である。犯罪は今まで経験したことのない強いショックと数々の苦痛を与える。傷ついた心は周りから励ますつもりで発せられた言葉にも深く傷つくということさえある。 したがって、支援に際し被害者等に二次（的）被害を与えることのないように、細心の注意を払いながら対応している。	弁護士や心理職などの専門家や専門的な訓練を受けた支援員が対応するが、相談や支援は全て無料で受けることができる。	2022年度の総支援件数は、電話相談が744件、直接的支援（裁判、検察、警察、病院等の付添いや、裁判の代理傍聴）が159件、面接相談が53件、メール相談が85件、自助グループ開催が6回、合計1,047件と、ここ数年増加傾向にある。性暴力・性犯罪の被害者を支援する「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」における支援件数は、総支援件数のうち590件と、同様に増加傾向にあり、今年度から24時間365日の支援体制の拡充を図った。 こうした支援事業以外に広報事業や養成・研修事業等を行っている。			
13	NPO法人	スキマサポートセンター		臨床心理士・公認心理師・弁護士・精神保健福祉士等の専門家で構成されており、ご相談内容に応じて多面的な支援を提供できます。				
14	ボランティア団体	茨城県難病団体連絡協議会	患者本人の立場に立った対応。	難病に関わる機関で一番患者の立場に立てる。	電話による難病相談を永年実施。患者会への支援。	医療費助成は重症化しないと受けられないこと。	気軽にお問い合わせください。	
15	一般社団法人	日本ケアラー連盟	ケアラーの立場や信条に沿い、「ケアラー自身の人生の支援」を基本に、様々な活動に取り組んでいる。	ケアラーやヤング・若者ケアラーが抱える問題を常に可視化し、支援ニーズを明らかにしている。これらの活動を背景に、政策提言活動に力を入れている。	①調査研究や、政策提言活動、普及・啓発ツールを通じて、国や自治体のケアラー・ヤングケアラー支援施策の前進に貢献している。 ②自治体におけるケアラー・ヤングケアラー支援推進のための条例化への働き掛けを行ってきている。現在までに18自治体で条例成立。 ③ヤングケアラー支援については、ヤングケアラー経験者のスピーカーバンク活動を通じて、スピーカーを養成し、研修や講演会などの場で経験の共有や問題を提起し、理解の促進に貢献している。	ケアラー・ヤングケアラー支援についての理解は広がってきているが、いまだ十分ではない。支援団体なども増えてきているが、点の支援をを面に広げていくこと、法制化や条例化によって、支援の普遍化を図っていく必要がある。	決して一人じゃない。SOSを出しにくい。	ヤングケアラーはもとより、全世代の多様なケアラーへの支援のしくみづくりに取り組んでいます。

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	32. 活動を実施する上で大切にしていること	33. 団体の強み	34. 活動実績や成果	35. 活動で感じる社会的課題	36. ケアラーへのメッセージ	37. 備考
16	NPO法人	ともに歩む 認知症の 会・茨城	認知症の人及び家族等の尊厳を守ること。支えられる側と支える側に分け隔てるのではなく、認知症とともによりよく生きていくこと。	認知症本人も一緒に運営に参加しており、当事者の気持ちや思いの発信が介護のヒントになっている。長年看護に携わった医療従事者や介護経験者もあり、専門的なアドバイスも受けられる。	2015年から認知症カフェを100回以上開催しており、参加者はのべ1500人以上になりました。認知症本人が運営に参画しており、当事者目線で発信をし、認知症や介護に対する考え方が変わる方が多くいます。また、認知症に関する講演会も毎年開催し、認知症理解の啓発しております。		同じ悩みを抱えている者同士で交流することで心が軽くなります。あなただけではありません。お気軽にお問い合わせください。	当会は認知症本人も一緒に活動しています。活動を通して本人が異変を感じる初期段階があることがわかりました。その時に適切な対応をする事で、今の生活を維持できるのです。本人の声を活かし、認知症を正しく理解することで家族もケアが変わります。認知症を他人事ととらえず自分の事として考えてみませんか？
17	NPO法人	認知症介護 家族の会う さぎ	認知症の人の人格や思いを何よりも尊重し、出来る限りの支援をするというミッションを掲げています。又、介護家族の状況をよく理解した上で、その気持ちに寄り添い、少しでも負担が軽減するように心掛けています。そのためにも、介護家族が辛さや喜び等を共有できる場と時間を提供するようにしています。	認知症の人と介護家族の支援のために様々な取り組みを継続的に行ってきたこと。	認知症介護普及啓発事業として2012年から「認知症介護教室」は14回、「認知症カフェ」13回開催した。その他、写真展や「ペコロスの母に会いに行く」の映画上映会を行った。又、「認知症サポーター養成講座」のキャラバンメイトを6年受けている。更に3年前より「認知症サポーターステップアップ講座」の講師も引き受け、受講生9人による「オレンジパートナー」ボランティア団体を立ち上げた。オレンジカフェ等で活動している。 ・介護相談事業、介護家族交流事業は、「認知症カフェ」の中で行ってきた。 ・介護保険法に基づく居宅サービス事業は、2011年12月にデイサービスうさぎを開設。2016年6月には、居宅介護支援事業所うさぎ、2020年5月には訪問介護うさぎを開設し、地域の関連機関と協力しながら地域福祉の為に活動を続けている。 ・4年前より稲敷市の委託を受け、「いな式オレンジカフェ」を年6～8回開催している。江戸崎商店街の真ん中にある古民家で地域の認知症の人その家族、認知症に関心ある方、シニア世代の方々が集まって楽しく交流している。相談も受け付けている。	認知症に対する誤解や偏見は、少しずつ減ってはいますが、まだまだ時間がかかります。この活動を地道に継続していくためにも、活動自体への理解と協力が必須だと思います。	認知症のケアは、1人で抱え込まないで！	
18	ボラン ティア 団体	日立市そよ かぜの会	介護で悩まれておられる方のお話を聞き、日頃のうっづんを吐き出して、心が軽くなるように心がけています。	認知症の家族を実際に介護されておられる、あるいは、終わられた経験者の集まりですので、介護者の気持ちがよく理解でき、親身になって対応ができます。	会に参加しお話しされることにより心が軽くなるという方が多くおられます。	認知症は昔に比べ世の中に知られるようにはなってきたが、まだ隠したがる方も多い。これからは若い世代からも認知症の症状を正しく理解してもらおうこと。より身近なご近所の理解と見守りの体制が整って認知症になっても住みやすい街になって欲しいことなど。	常に笑顔で、相手にやさしく、気持ちに余裕をもって、決して怒らない。認知症を発症した本人の気持ちを大切にしている介護者の自分自身の心の安定を保つことはとても大切です。たまにはお話をして詰まった気持ちを手放す時間を共有しましょう。	

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	32. 活動を実施する上で大切にしていること	33. 団体の強み	34. 活動実績や成果	35. 活動で感じる社会的課題	36. ケアラーへのメッセージ	37. 備考
19	ボラン ティア 団体	ひまわりの 会	・ひまわりの会のスタッフだけではなく、ご本人と介護家族が皆で支え合うピアの力（仲間の力）で作り上げること。 ・介護家族が一人になられても、繋がっていただけること。 ・一人一人の心に寄り添う気持ちを大切にすること。	ひまわりの会では、老人・認知症専門の講師を招き、ご本人も介護家族も一緒に楽しめるプログラムを行っています。	「Memoryの放課後 家族会」 ・気を使うことなく、話せる場所で参加するのを楽しみにしている。 ・話すことで気持ちが楽になる。 ・他の方の話を聞き勉強になる。 「Memoryの放課後 プラス家族と共に」 【介護家族】 ・久しぶりに大声で笑った。 ・家では見られない外での姿が見れた。 ・いつもと違う楽しい時間を過ごせた。 【ご本人】 ・楽しかった。 ・工作で作った物を家に飾り、いつも楽しく見ている。 ・次はいつ開催するの？楽しみにしている。と言う声を頂いています。	「認知症」という病気は聞いたことはある人は多いと思いますが、本当の意味での病気の理解は、残念ながら関わったことがなければ分からないのが現実です。社会的にきちんと理解されるにはまだまだ時間がかかる難しい問題だと思いますが、この問題が解決されれば、ご本人も介護家族も住み慣れた場所で安心して暮らすことができると感じます。	一人で悩まないで、あなたは一人じゃないよ。一人では抱えきれないことも、仲間と語り支え合いましょ。	「Memoryの放課後 家族会」、「Memoryの放課後 家族と共に」に参加して下さる方々と、皆さん顔見知りになり、笑顔の輪が広がっていく姿を見ると、とても幸せな気持ちになります。
20	ボラン ティア 団体	不登校・多 様な学び ネットワー ク 茨城	子どもを真ん中に、皆で手をつなぎ、考え、行動していくこと。	県内の不登校や多様な学びに関わる様々な地域や専門性を持つ人たちが参加していること。そのため多様な状況やニーズを持つ不登校当事者や関係者に寄り添う支援を行うことができる。	・当事者にとって不登校支援情報が得にくい中、県内の不登校支援情報を集約したサイトを作成した。周知に難航しやすい支援者の活動を支えることにもなっている。当事者からも支援者からもそうした声が届いている。 ・不登校の実情が社会的にまだまだ見えにくい中、定期的に学習会や交流会をすることで、各団体の支援の質を高めたり、支援者同士連携し子ども達や保護者にとってより豊かな活動な支援ができるようになった、と参加団体から感想をもらう。	・どこにも繋がれずに、一人で、または家庭で抱え込んでいる不登校当事者が圧倒的に多い。（支援情報の周知、教育機会確保法の周知、動きにくい状況にある家庭への支援、子どもの教育を支えるための経済的支援など） ・義務教育修了後は、子どもや保護者から動かないと、見えない存在になりやすく、その先ひきこもり等にもつながりやすい。 ・不登校には教育や社会の状況が大きく関わっているため、学校や社会が一人一人にとって過ごしやすいものになっていく必要がある。また、子ども（人）が多様な存在であることが社会全体で認識されていく必要がある。	学校や学び育ちに関することはお気軽にご相談ください。	
21	ボラン ティア 団体	ami seed	ご縁・つながりを一番に大切にしております。	食料支援などのサポートができ柔軟に対応ができる。また、無料学習支援など様々な支援事業を通して寄り添うことができる。	無料学習支援を通して、夕食の提供や食料支援を行っている。お弁当を兄妹の分、親の分も持ち帰れると知ると声に出して喜ばれることが多い。ケアラーの子どもたちが望むことは、自分の親や家族に支援・寄り添ってくれる人がいることで、安心を感じられる居場所の成果がある。 不登校のお子さんへ家庭訪問の学習支援、農業体験などを行っています。 引きこもりがちの方など、イベントなどや様々なボランティア活動の依頼や、子ども食堂のお弁当配布などで外出するきっかけから、外へ少しずつ出る機会を増やしている。	ケアラー・引きこもり・不登校などの悩みを抱える方の環境が複雑化しており深刻になっている。当事者が望んでいることと、社会が問題としてとらえることにズレがあると感じる。 どう相手を理解し寄り添えるかが課題である。	アットホームな団体です。ぜひ、一人でも、家族と一緒に気兼ねなくお越しください。	
22	ボラン ティア 団体	ひきこもり 不登校/つ ながり考え る鹿行の会	子どもの「理解と対応」について、人間理解を共に考える立場で、丁寧な対話に努める。つまづきのドラマを丁寧に「理解」し、回復へのドラマを創っていくような「対応のあり方」を探求していく、そんな対話を積み重ねていく。指導助言が過ぎないように注意する。	・随時個別相談に応じる。 ・面接、電話、メールでの多様な方法で相談対話を行う。 ・会のスタッフは3人いる。 ①元経験者のピアサポーター ②精神保健福祉士 ③教育カウンセラー	①二十歳から20年ひきこもっていた方が最近地域のショッピングセンターに行くようになった。訪問型の相談活動は3年目を迎えている。 ②国立大学で不登校が続き7年生になった頃に相談があった。1年半の相談活動の中で一昨年卒業することができた。現在は就職が継続し2年目に入っている。 ③中学2年間登校しづりが続いた。2年間の相談活動の中で、高校に進学。今高2で元気に登校が続いている。 ④中学2年生から不登校気味に。現在は高1になり、7～8割の出席で登校が続いている。	・行政の協力で、会の存在を広く知ってもらいたい。 ・ひきこもりの行政窓口を明確にしてほしい。それを市民に広く周知してほしい。 ・市の広報紙、地方新聞（茨城新聞）などで、ケアラー問題の欄を確保し、民間の取り組みの紹介を常に行ってほしい。	独りで悩まず、抱え込まず、先ずは声を出してほしいです。「声に出す＝相談する＝問題を共有する」。ここから全てが始まります。	月例会に参加したり、個別相談することで、我が子の心の内が見えてきます。子どものこころが見えてくると「理解」ができてくると、適切な「対応」が出来ます。親子の関係性が改善し、子どもが元気を回復していきます。

行 番号	1. 法人 格の有無 やその種 類	2. 団体名	32. 活動を実施する上で大切にしていること	33. 団体の強み	34. 活動実績や成果	35. 活動で感じる社会的課題	36. ケアラーへのメッセージ	37. 備考
23	ボラン ティア 団体	てふてふの 会	支援する人、される人という関係ではなく、「対等な関係」を心掛けています。実際、支援している方からの学びも多くあります。学びをもらった時には、心からの感謝を伝えるようにしています。	事務局のグッジョブセンターみとは、ひきこもり支援のため様々な事業を行っていることで、その方の状態に応じてメニューを選べます。	30年以上ひきこもっていた子どもが、就労体験をスタートさせました。そこまでの苦労等を当事者の親が、ひきこもり関連講座でお話しするなど、現在ひきこもっている子どもを抱える親に対して勇気を与えました。	ひきこもりの課題解決は非常に難しいですが、みんなで集まって話すことにより気持ちが楽になります。	お気軽にお問い合わせください。	親の会に加入しているからと言って、子どものひきこもりが解決するわけではありません。このような会に所属していることで、子どものちょっとした変化を喜ぶ親の姿が、印象的です。
24	ボラン ティア 団体	難病カフェ アミーゴ	主催者からの一方的な押し付けではなく、参加者の意見を取り入れた企画を毎回取り入れて、参加しやすい環境を作ることを行っています。	公的な団体ではないため、提案・企画から開催までの時間が早い。状況に応じて柔軟な対応をとることも可能で、参加に際しての制約も少ないため参加者も構えずに「気軽に」参加できる。	参加者の意見を反映した「難病患者のための防災ガイドブック」は、2021年度内閣官房「国土強靱化民間の取り組み事例集」にも掲載され、茨城県のHPから閲覧・ダウンロードもできます。	日常生活における難病患者への理解の薄さ、支援にたどり着く工程の複雑さに加え、自身が難病患者であることへの劣等感が負の方向へ絡み合っているように感じます。	患者さん本人には内緒でと連絡をくださる家族の方もいらっしゃいます。どうぞ気軽にご連絡ください。	患者は、ケアをして下さる方が自分に対して「お世話」をすることだけでなく、お互いを理解し合っただけでなく、同じ方向を向いて前に進んでくれることを望んでいると感じます。難病カフェを通して、そのきっかけを作ることができれば幸いです。
25	認定 NPO法 人	水戸子ども の劇場	当事者や当事者家族、経験者が可能な限りスタッフとして参加し、共に悩み・共感しながら活動をしています。	水戸子どもの劇場としては、様々な活動をしていますので、自分の興味のある他の活動にもスムーズに参加していくことが可能です。	多胎児サークルかるがも… 様々な年代の多胎児を育てるご家庭と話をし、二人乗りベビーカーでも行きやすい場所やお出かけ時の工夫を聞いたことで、色々な場所に出かけたり、他の子育てイベント等にも参加することができるようになったご家庭があります。 comodo～コモド～個性ある子育て家族のサロン… 生活や学習に課題のある子が使いやすく、親子がスムーズな生活を送りやすくなるためのツールや本等も準備しています。お試してから、我が子に合った物を購入できます。 参加者の声として、発達障害児の子育ての話をできる場所を探していました。就園、就学についての経験談を聞いて気持ちが少し楽になりました。 他の子と何か違う気がして不安でした。我が子だけどうして？ と孤独でしたが、comodoに参加したら同じように悩んでいる方、悩んでいた方たちに出会い心強いです。 HSC・不登校の子の話ができる。話をしなくてもその場にいるだけでもOKな場所。同じ目線のスタッフがいる。 こどもの居場所ポルタ… 子どもが学校に行きたくない。行きたいけど行けないという。朝起きられない。周りの子と合わない。そんな子どもたちの居場所になっています。自分らしく、安心して過ごせるようにおとなスタッフが寄	多胎児サークルかるがも… 保護者1名で多胎児の外出を準備し、外に連れ出すことや、オンラインだったとしても多胎児から目を離さずに安全に参加することはなかなか難しい現状がある。 支援者が行く、支援者がどこかに一緒に行くという支援が特に多胎児には必要なのではと感じることが多々ある。 comodo～コモド～個性ある子育て家族のサロン、こどもの居場所ポルタ… まだまだ発達障害やHSC、不登校について理解されないことも多く、子どもはもちろろん親やきょうだい児も心無い言葉をかけられることが多いのが現状だと思う。 理解を深めるための講座や講演会等の機会も作っていきたい。	ご参加をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。	
26	ボラン ティア 団体	双子サーク ルかみすつ いん	コロナ禍に負けず活動を継続すること。	近隣唯一の多胎サークルです。	コロナ禍や主催者の身辺事情により、会場を借りての活動が難しくなってきました。 これから双子を授かる若い方には、オフラインよりもオンラインで気軽にやり取りできる交換の場が求められているのではないかと思います。2022年12月より、LINEオープンチャット「双子サークルかみすついん」をオープンしました。2023年春現在、神栖・鹿嶋・潮来、そして千葉県香取市の双子ママさん10名が参加しています。お下がり交換なども、インターネットを介してマッチングしてもらえればと思います。運用ルールを作っています。今後、LINEオープンチャット内で需要が見込まれるようであればオフ会も開催する予定です。		人が少ない田舎で、かつ転入出の多い地域なので、なかなか同じ地域の双子・三つ子ママと会うことができず、お悩みかと思えます。LINEオープンチャットは顔を合わさない匿名の場ですので、多少の言いにくい悩みも、吐き出してスッキリして頂ければと思います。ぜひ、お気軽にご参加下さい。	

行番号	1. 法人格の有無やその種類	2. 団体名	32. 活動を実施する上で大切にしていること	33. 団体の強み	34. 活動実績や成果	35. 活動で感じる社会的課題	36. ケアラーへのメッセージ	37. 備考
27	ボランティア団体	ゆったりカフェ龍の会	スタッフも参加者も自死遺族であるので寄り添うことに努めています。	ファシリテーターも自死遺族なので参加しやすい。	私（代表）の息子が15年ニートで、35歳で発達障害とわかり、3年前にやっと就労したという体験があるので、参加者に体験を話すことができる。	行政や支援団体は相談にくるのを待つのではなく、アウトリーチして欲しい。		
28	ボランティア団体	茨城県里親連合会						
29	任意団体	グリーフサポートいばらきぶるーすかい	死別体験をした子どもが安心して気持ちを表現できる居場所となり、子どもたちが健やかに成長・発達していけるようにサポートしたい。	団体の中心メンバーが大学看護学部教員であるため、保健医療福祉に関する知識の提供や教育・研修活動には習熟している。また、常磐大学の協力を得ることができ、大学の地域連携センターや研究会から専門的なサポートを得やすいこと。	・2019年に2回、死別体験をした子どものグリーフサポートプログラムと、保護者の「わかち合いの会」を開催した。 ・2020年に、グリーフサポートプログラムのファシリテーター養成研修会を開催した。		何かできることがあれば、サポートさせていただきます。	
30	宗教法人	正安寺グリーフサポートカフェ	グリーフを抱えると、身体への影響、心への影響、社会的な影響など様々なことが起こります。どんな反応であっても、それをそのままに受け止めることを、スタッフ一同大切にしています。話したいときはまめに話し、話したくない時はまめに聞く。同じ気持ちを共有しながら、その時間を過ごすようにしています。	様々なグリーフを抱えた当事者がスタッフとなっているので、話しやすい雰囲気できています。	このような会を求めていた、という声や、参加できてよかったという声を、参加者の方からいただいています。県外からの参加者もあるので、開催しているところがなかなかないのかもしれない。	グリーフへの認知がもう少し広まれば、グリーフを抱える人が生きやすくなるのではないかと感じます。	気持ちが向きましたら、どうぞお問い合わせください。会が開催していないときであっても、ご相談に乗ることもできます。	3、6、9、12月の最終日曜午後2～4時で開催しています。
31	ボランティア団体	Sanaの会	名前、住所は話したい方のみ紹介して頂いています。来ても、来なくても、ずっと来なくても、また来ても、好きな時に来ればいいじゃないですか。という気持ちで開催しております。「Sanaの会」で話し合った内容は守秘義務を厳守して頂いています	茨城県内では唯一の会になります。	初回から現在まで毎回参加されている方もおります。	茨城県はグリーフケアが何かを知る人が少ないように感じています。人は必ず死を迎えます。死別悲嘆は人生の中で誰でも経験する過程です。グリーフケアを知ること、その時自分を守る一つの手段となるのです。大切な人を見送った後の喪失感をサポートする支援体制の整備は、今後社会的な課題になると考えております。		
32	認定NPO法人	千葉県東葛地区・生と死を考える会	助言ではなく傾聴に徹すること 参加者同士で比較しないこと 安心安全な場を提供すること 話した内容は外部に漏らさないこと	・分かち合いの会等のボランティア活動の開催回数が他のグリーフの団体と比較して多いこと。 ・スタッフがボランティアであること。（プロでない（お金をもらわない）ことで同じ目線で支援できる）。	2023年で30年になりますが、グリーフケアの分かち合いに多くの参加者がいらっやいました。その参加者が今度はスタッフ側になり、自分の経験を活かしてつらく悲しい思いをしている人の話を聴く活動をしています。	・グリーフを抱えてつらい思いをしている人数に対して支援者数が足りない事。回数の課題でもある。 ・対象者を広げること。40歳までの若年層、10代。 ・オンライン相談の必要性。	死別体験者でもボランティアについてでも、お気軽にお問い合わせください。	